駒澤大学教育後援会 会報

2023
Vol.186

CONTENTS

新入生スケッチブック
～ひとことメッセージ～

- サークル紹介　軟式野球部／鉄道研究会
- 学部・学科紹介　文学部 英米文学科
- 地方で活躍する駒大卒業生の皆さん
- 気になる就職活動

駒澤大学教育後援会
会報
2023
Vol.186

サークル紹介　軟式野球部 ▶6〜7ページ

CONTENTS

◆**巻頭挨拶** …… 4〜5
各務 洋子（駒澤大学 学長）……4
櫻井 秀則（駒澤大学教育後援会 会長）……5

特集1
◆**サークル紹介** …… 6〜9
●軟式野球部 ……6〜7
馬場 空汰（代表）／樋口 慎太郎（主将）／佐藤 依吹（主務）
［取材を終えて］教育後援会文化部取材班
●鉄道研究会 ……8〜9
越智 康友（会長）／高瀬 陽都（総務部長）／高野 統護（企画部コミケ担当）
［取材を終えて］教育後援会文化部取材班

◆**【特別企画】新入生スケッチブック〜ひとことメッセージ〜** ……10〜15

特集2
◆**学部・学科紹介　文学部 英米文学科** ……16〜21
●［学科主任挨拶］英米文学科主任・教授 北原 賢一 ……16
●［学生たちの声！］沼野 真輝／李 麻衣／岩本 慶和 ……17
●［教員ピックアップ］教授 佐藤 真二／教授 逢見 明久 ……18〜19
●［このゼミに注目！］教授 本村 浩二／教授 上石 実加子 ……20〜21

◆**【特別企画】第19回 地方で活躍する駒大卒業生の皆さん** ……22〜23
文学部 歴史学科日本史学専攻卒業 松林 花奈

特集3
◆**気になる就職活動** ……24〜27
●キャリアセンターから ……24〜25
●［就活体験記］
経営学部 市場戦略学科卒業 Y・S／GMS学部 GM学科卒業 金田 桃子 ……26
●キャリア・就職支援スケジュール ……27

サークル紹介　鉄道研究会 ▶8〜9ページ

地方で活躍する駒大卒業生の皆さん
▶22〜23ページ

【駒澤大学教育後援会とは】

教育後援会は、駒澤大学・大学院に在学する学生の保護者を会員として構成されています。大学と家庭との連絡を図り、教育的効果の向上に協力すると共に、会員相互の親睦と福祉に寄与することを目的としております。

特集 4

◆教育後援会だより……28〜31
●教育後援会の活動紹介……28〜29
●2023年度 教育後援会執行部・監査紹介……30
●駒澤大学役職者紹介……31

◆定期総会報告……32〜35
●「教育後援会 定期総会報告」教育後援会総務部 部長 段中 明紀……32
●2023年度 教育後援会委員名簿 及び 教育後援会組織図……33
●2022年度 教育後援会収支決算報告書・積立金明細書……34
●2023年度 教育後援会予算書・特別会計予算書……35

◆駒澤大学教育後援会 規程……36〜37
●駒澤大学教育後援会 会則……36〜37
●ホームページのご案内……37

◆大学だより……38〜41
●令和5年度 後期学費等納入のお知らせ 財務部学費係……38
●卒業アルバムのご案内 学生支援センター学生係……38
●奨学金について 学生支援センター厚生課……39
●国際センターの取り組み……40
●駒澤大学 学生・保護者の方々へ KUサポート……41

●一泊参禅研修会（大本山永平寺）募集要項……42
●第51回 会員研修会「一泊参禅研修会」参加申込書……43
●会員アンケート用紙……45
●オータムフェスティバル2023 開催予定／編集後記……47

学部・学科紹介　文学部 英米文学科 ▶16〜21ページ

【本文中の表記について】
GMS学部GM学科:
グローバル・メディア・スタディーズ学部
グローバル・メディア学科

駒澤大学 学長
教育後援会 名誉顧問
各務 洋子

ポストコロナ時代の新たな大学の在り方
～しなやかに「個」を活かす大学教育をめざして～

駒澤大学教育後援会ならびに役員をはじめ会員の皆様には、日頃より多大なご支援ご鞭撻を賜り、心より御礼を申し上げます。一昨年4月、コロナ禍の渦中に学長に就任して以来、3年目の今年度に入り、ようやく収束に向けて新たなステージに入ったことを実感しています。爽やかな五月晴れの空のもと、種月館5階のルーフテラスの芝生の上でランチを広げ、寝転がって友達と談笑する学生の姿を眺めながら、感慨無量の思いです。

歴史を振り返れば、100年に一度程度繰り返してきたウイルスと人類の闘いがありましたが、同じ時期に、世界の人々が苦闘した共通の経験は、共に持続可能な社会の実現に向けて、協働の意識を深めることにつながるのではないかと確信しています。

同時に、この3年で世界は大きな転換期を迎えたと言えるでしょう。

今年に入り、特にChatGPTをはじめとした生成系人工知能の技術は瞬く間に地球を駆け巡り、世界の教育現場に大きな波紋を呼んでいます。本学もいち早く、こうした先端技術への向き合い方をホームページで提示したばかりです。新しいテクノロジーの出現は止めるわけにはいきません。一人ひとりがその本質を見極め、慎重に利活用できる力がますます求められます。日本全体として、新しい技術の利活用に後れを取っていますが、卒業後に直面することになるのは個々の学生自身です。本学での学びが卒業後に活かされるように、充分な教育体制を整えてまいる所存です。

大学運営におきましては、2年前から公約として掲げ、継続して注力しています「デジタル化とダイバーシティ（D&D）」には、より一層、力を入れて推進しています。残念ながら、今年も、世界の教育分野のICT利用率は、OECD加盟国38か国中、日本は最下位となりましたが、卒業後直ちに向き合うことになる学生たちにとっては、もはや死活問題であります。教育と研究が本業である高等教育機関としての大学において、分野を問わず、デジタル化なしでの教育研究環境はあり得ません。デジタル化を進めることがなぜ重要なのか、それは「社会の仕組みを変える原動力」になるからであります。世界は、そのデジタル化を通して、教育や研究の在り方を積極的に問い直し、変革を起こしています。さまざまな職場や、教育の現場で、デジタル化の推進が、多様な生き方・働き方の確保につながっていることが分かってきています。まさに、新しいテクノロジーが社会の仕組みを変えつつあるのではないでしょうか。一人ひとりの「個」の生き方を尊重する仕組みとして、手段のデジタル化を捉えたいと思います。それこそが、世界に大きく後れを取っている日本のダイバーシティ（多様性）、すなわち「個」を活かす生き方や働き方を推進する最短の道ではないかと考えています。

本学も理事を担う日本私立大学連盟におきましても、ポストコロナを迎え、いよいよ大学教育の現場における大転換期であることを意識して、さまざまな取り組みを提案しています。世界とつながる垣根を超えた学びの構築の推進や、国内外の協定大学との単位互換の推進、オンラインを通じた国内外の学生・研究者・実務家との交流授業、留学制度の再整備等、大学の在り方を抜本的に変革する動きが高まっています。

世界の中の日本の立ち位置は、この40年で様変わりしました。一気に挽回することは難しいところまで落ちています。しかし、しっかりとしたデジタル力とダイバーシティを尊重するマインドを備えて、社会で、そして世界で力強く生きていく力を培ってほしいと思います。

本学の教育後援会の存在はますます重要性を増しています。本学の幅広い同窓生と、関係者との強固な連携のもとで、今後もさらなる発展を期する所存でございます。本学の明るい未来に向けて、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

駒澤大学
教育後援会 会長
櫻井 秀則

教育後援会を通して広げたい学生支援

日頃より駒澤大学教育後援会活動にご理解・ご協力を賜り、感謝申し上げます。この度、令和5年度定期総会にて、教育後援会会長に就任いたしました櫻井秀則です。

当会は昭和34年（1959年）8月23日に「父母の会」として発足し、平成6年に「教育後援会」へ改称し今年で64年を迎えます。この長い歴史のある教育後援会の会長を拝命し、その重責を感じております。

当会の目的は当会則に「大学と家庭との緊密なる連絡を図り、その教育的効果の向上に資するとともに、併せて会員相互の親睦と福祉に寄与することを目的とする」と明記されているように、「学生支援・大学の発展・会員同士の交流」を底辺として活動しております。

発足時より今日まで当会の活動が継承されていることは、これまで当会を支えてくださった諸先輩方・大学職員の方々の多大なるご尽力の賜物と御礼申し上げます。

1年生の保護者の皆様におかれましては、ここ3年にわたるコロナ禍による制約・制限の多い高校生活を過ごされ、大変なご苦労があったと推察いたします。また、これから始まる大学生活に対し大きな期待と希望を持ってご入学されたと思います。この度のお子様のご入学、誠におめでとうございます。教育後援会として心よりお祝い申し上げます。

教育後援会は、駒澤大学・大学院に在籍されている学生の保護者ならびに保証人の方々、約一万四千四百人を会員とし、大学と連携しながら、学生に向けたさまざまな支援と教育の向上に努めております。

当会の運営につきましては、会員より選出された教育後援会委員が執行部・監査ならびに総務部、厚生部、文化部に席を置き、また五つの支部（鳥取県、三重県、福岡県、熊本県、長野県）と共に、協力しながら活動を行っております。

主な活動内容は、学内奨学給付金、学生への食育支援事業、家計急変学生に対する一時給付金、会報誌発行（年3回）、委員・会員研修会など、学生が有意義な教育を受ける環境整備に努めております。

昨年度は、駒澤大学開校140周年を迎え、新図書館「知の蔵」の竣工など、節目を迎えた一年となりました。またコロナ禍の制限等も徐々に緩和が行われ、学生が大学キャンパスに戻り、活気を取り戻しつつあります。

このような状況に当会も連動して、今年度は学生の未来を応援する支援活動を取り戻し、学生支援の拡充に努めてまいりたいと思います。

また、皆様へお知らせが届いている通り、今年度は学生の保護者ならびに保証人の方々に向けた教育懇談会の開催を6月に、オンライン個別相談会を7月に予定しております。皆様に関心の高い、大学の近況や就職状況、学業成績、学生生活に関する説明をお伝えするとともに、大学教員によるミニ講義なども開催いたします。4年ぶりの開催となる教育懇談会にぜひともお申込み・ご参加いただければと思います。

会員の皆様、大学職員の方々、同窓会・駒澤会などの関連団体の方々との関係も大切にしながら、駒澤大学の発展に寄与し、学生がより良い環境で活動ができるよう1年間尽力してまいりますので、皆様ご理解とご協力のほど、何とぞよろしくお願い申し上げます。

特集 1

CIRCLE Pick Up!

サークル紹介

軟式野球部

- 創立年:2018年
- 部員数:53人（男:41人、女:12人）

軟式野球部とは？

私たち軟式野球部は全国大会優勝を目指して日々活動しています。

体育会の部活動ではありますが野球漬けというわけでもなく、週2日、1日あたり2時間の活動であるため、学業やプライベートとの両立も可能となっています。

私たちには勝利に向かって野球に取り組むことはもちろん、学年関係なくプライベートでも仲が良いという特色があるので、大学でも真剣に野球がしたいが厳しすぎるのはちょっと…、という人にうってつけです。

部員も甲子園出場経験がある選手から野球未経験の選手まで幅広く在籍しているため、自分が知らなかった世界を知ることもでき、お互い切磋琢磨しあっています。

今年は昨年の全国大会準優勝を超えるべく、部員全員で全国制覇に向かって活動していますので、引き続きの応援をよろしくお願いいたします。

［ 部員の声 ］

VOICES OF MEMBERS

主務
法学部
法律学科3年
佐藤 依吹

最後の学生生活を悔いなく全力で

私が軟式野球部に入部したきっかけは、高校3年時の甲子園大会の中止でした。高校3年間毎日を野球につぎ込みましたが、甲子園が中止になり、やりきれない気持ちがありました。そんななかで出会ったのが軟式野球部でした。

軟式野球部は甲子園出場経験者から初心者まで、部員全員が伸び伸びと野球ができる環境になっており、何かを本気でやることが少なくなる大学生活には最適な場所だと思います。

個人としては最後の学生生活に悔いが残らないよう、部としては全国でさらなる好成績を残せるように精進いたしますので、温かい声援をよろしくお願いいたします。

主将
経済学部
商学科3年
樋口 慎太郎

新しい野球のカタチ

私は大学で野球を続けるつもりは全くありませんでした。しかし、サークルフェスティバルで軟式野球部のところになんとなく立ち寄り、話を聞くうちに興味をもち、体験を経て入部することになりました。

高校で野球に対し燃え尽きていた私でしたが、こんなにも楽しく野球ができるのだと感動したのを今でも覚えています。今までの厳しい部活としての野球ではなく、野球というスポーツを仲間と共に楽しむという新しいカタチがあることに気づかされました。

引退まで残りわずかですが、野球も遊びも勉強も全力で頑張ります。

代表
経済学部
現代応用経済学科
3年
馬場 空汰

野球人生最後の決意

私は今年が野球に本格的に携わる最後の年だと思っている。大学野球最後の今年は、昨秋の全国大会準優勝というチーム成績を超えるために、代表として自分自身のことではなくチーム内外のことにしっかり目を配り、他人のために全力を尽くせる人間になりたい。

そして高校野球で学んだ、「一人一役全員主役」の精神を忘れることなく、必死になって野球に向き合う姿勢を見せた上で、全国大会優勝という形でお世話になった方に恩返しをしたい。

取材を終えて

春の日差しがまぶしい4月中旬、多摩川河川敷で練習を行っている軟式野球部の取材に伺いました。

まずは練習を見学させていただいた後、女子マネージャー・選手数人にお話を聞きました。

マネージャーは、元ソフトボール選手や全く野球を知らず友達に誘われて入部した学生さんなど、さまざまでした。選手もいわゆる甲子園常連校出身者から初心者まで、経験値は違えど部員全員が生き生き楽しく活動している姿が印象的でした。

また、指導者（監督）がいないので全て部員で行っている中、昨年は創部以来初の全日本大学軟式野球選手権大会で準優勝という素晴らしい成績を残しました。

練習日は週2回の各2時間で、筋トレなどのウエイトトレーニングは部としては行っておらず、限られた練習時間の中で高成績を残されていてすごいなあと思いました。

今年の大会では優勝を目指し、まずはけがなくベストなコンディションで大会に出場されることを祈念しております。

年間活動予定

- 3月 春季リーグ戦、追いコン
- 5月 新人戦
- 8月 全日本大学軟式野球選抜大会、懇親会
- 9月 秋季リーグ戦
- 11月 全日本大学軟式野球選手権大会
- 12月 引退試合

CIRCLE Pick Up!

サークル紹介

鉄道研究会

- 創立年:1966年
- 会員数:53人(男:50人、女:3人)

年間活動予定

- 4月 サークルフェスティバル
- 5月 新入生歓迎会
- 7月 前期納会
- 8月 夏合宿
- 11月 オータムフェスティバル 会長選挙
- 12月 後期納会
- 2月 春合宿
- 3月 追いコン

鉄道研究会とは?

鉄道研究会は1966年に設立され、現在50人弱の会員が所属しています。普段は月1回の部会や、不定期開催の模型走行会・巡検などを行っています。11月のオータムフェスティバルではジオラマなどの展示を行い、毎年多くのお客様にお越しいただいております。また、空きコマや昼休みなどにサークルルームに集まり交流を深めています。

合宿は8月と2月に実施しており、昨年度は出雲・仙台に行ってきました。班別に分かれて観光・撮影などを行う班行動や貸切列車への乗車など、当会のメインイベントの一つとなっております。

「鉄道研究会」と聞くとガチなオタクばかりが集まっている場なのでは? と思う方もいらっしゃるかもしれませんが、そんなことはありません。大学に入ってから鉄道に興味を持った会員もいますので、鉄道に詳しくない方でも大歓迎です!

公式HPやTwitterでは、私たちの活動について、より詳しく発信しております。ぜひご覧ください!

［ 部員の声 ］

VOICES OF MEMBERS

企画部コミケ担当
経済学部
経済学科2年
髙野 統護

知れば知るほど面白い「鉄道」

鉄道研究会には、乗り鉄、撮り鉄をはじめとしたさまざまなジャンルの鉄道好きが集まっています。鉄道を共通点とした結びつきが強いので、サークルのメンバーで交流する機会も多く、自分の知らない鉄道分野の話を聞くことができます。

夏と春に行われている合宿では、普段行かないような遠方で大勢のメンバーと鉄道体験を共有します。日々使う路線も住んでいる地域も違う多種多様なメンバーとの交流が、趣味としての鉄道をより楽しく彩ります!

総務部長
文学部
地理学科3年
高瀬 陽都

隠れた魅力を、もっと外に

私は祖父の影響もあり、幼い頃から鉄道が好きでした。しかし高校まで鉄道研究会がなかったので、大学で“こまてつ”に興味を持ち、入会しました。

ところで、皆さんは鉄道というものに対してどのような印象を持ちますか? 一部の心ないファンによって最近は悪いイメージが湧くことも多いかもしれません。しかし鉄道が好きな人の多くは純粋に楽しんでいますし、それは“こまてつ”も同様です。

隠れがちなこの魅力を楽しみたい、少しでも鉄道に興味を持っているなど、どんな方でも歓迎です。鉄道研究会で会える日を楽しみにしております!

会長
文学部
歴史学科3年
越智 康友

「鉄道」の楽しみ方は無限大!

鉄道には数え切れないほどの魅力があります。車両の色やデザイン・音・路線図・駅・模型・グッズなどなど、切り口を数えれば星の数ほどある、と言っても過言ではないでしょう。

鉄道研究会には、それらのジャンルに特化した会員が数多くいます。“こまてつ”に入ってから、それまでとは違うジャンルに興味を持つようになった会員もいます。

貸切列車乗車など、ここでしかできないさまざまな体験を通じて、私たちと一緒に「鉄道」を楽しんでみませんか?

取材を終えて

取材を受けてくれた会員の方々が実に魅力的で、年齢差も時間の経過も忘れてしまうほど、鉄道研究会の活動のお話に聞き入っていました。特に会長は、お笑い芸人「麒麟」の川島さんを彷彿させる低音と、独特のオーラで人を引き付ける魅力を持っていて、駒大は人材が豊富だなと実感した次第です。

主な活動である「鉄道旅」において、仙台現地集合に対して、なぜか北海道経由や、飛騨高山経由で集まるなど、凡人には理解できない鉄道の楽しみ方をするそうです。一見、時間とお金の無駄としか思えない活動ですが、それを至福の喜びとして語っている様子を見ていると、そういった余裕とか俯瞰した物の見方こそ、人間的魅力を醸成する栄養なのではないかと感じさせてくれました。

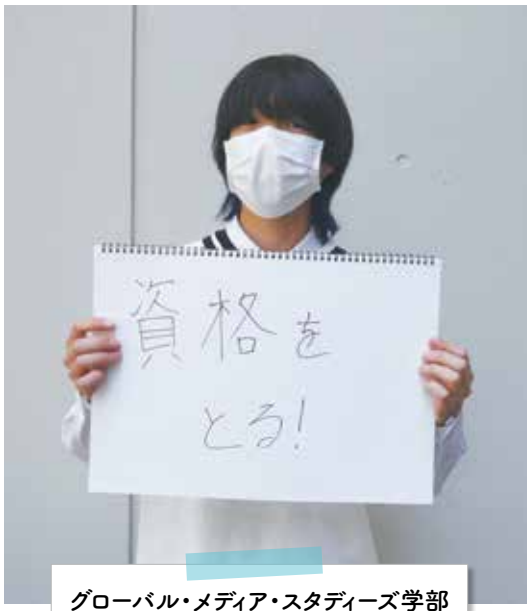
取材させていただき、ありがとうございました。

新入生
～ひとことメッセージ～

今年度から晴れて
駒大生の仲間入りをした
新入生に、大学生活の
抱負や将来の夢など、
それぞれの思いを寄せてもらいました。

グローバル・メディア・スタディーズ学部
グローバル・メディア学科

経営学部
市場戦略学科



グローバル・メディア・スタディーズ学部
グローバル・メディア学科

医療健康科学部
診療放射線技術科学科

仏教学部

経営学部
市場戦略学科

グローバル・メディア・スタディーズ学部
グローバル・メディア学科

文学部
心理学科

経済学部
経済学科

経済学部
経済学科

経営学部
市場戦略学科

経営学部
市場戦略学科

経済学部
現代応用経済学科

経済学部
現代応用経済学科

経済学部
商学科

経済学部
商学科

経済学部
商学科

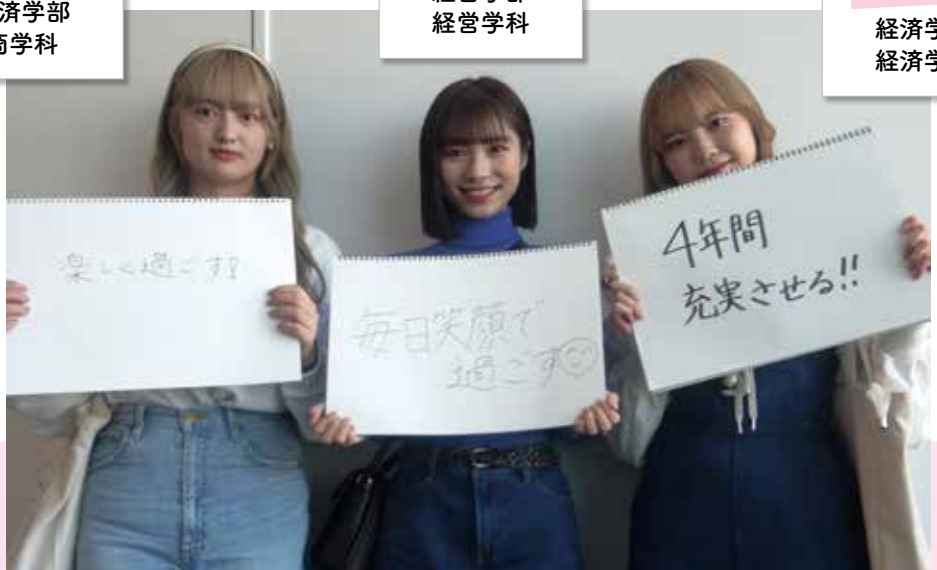
経済学部
商学科

経済学部
商学科

経済学部
商学科

経営学部
経営学科

経済学部
経済学科



文学部
社会学科

文学部
社会学科

文学部
社会学科

文学部
歴史学科

経済学部
現代応用経済学科

文学部
地理学科

文学部
地理学科

文学部
国文学科

経営学部
市場戦略学科

法学部
政治学科

経営学部
市場戦略学科

法学部
政治学科

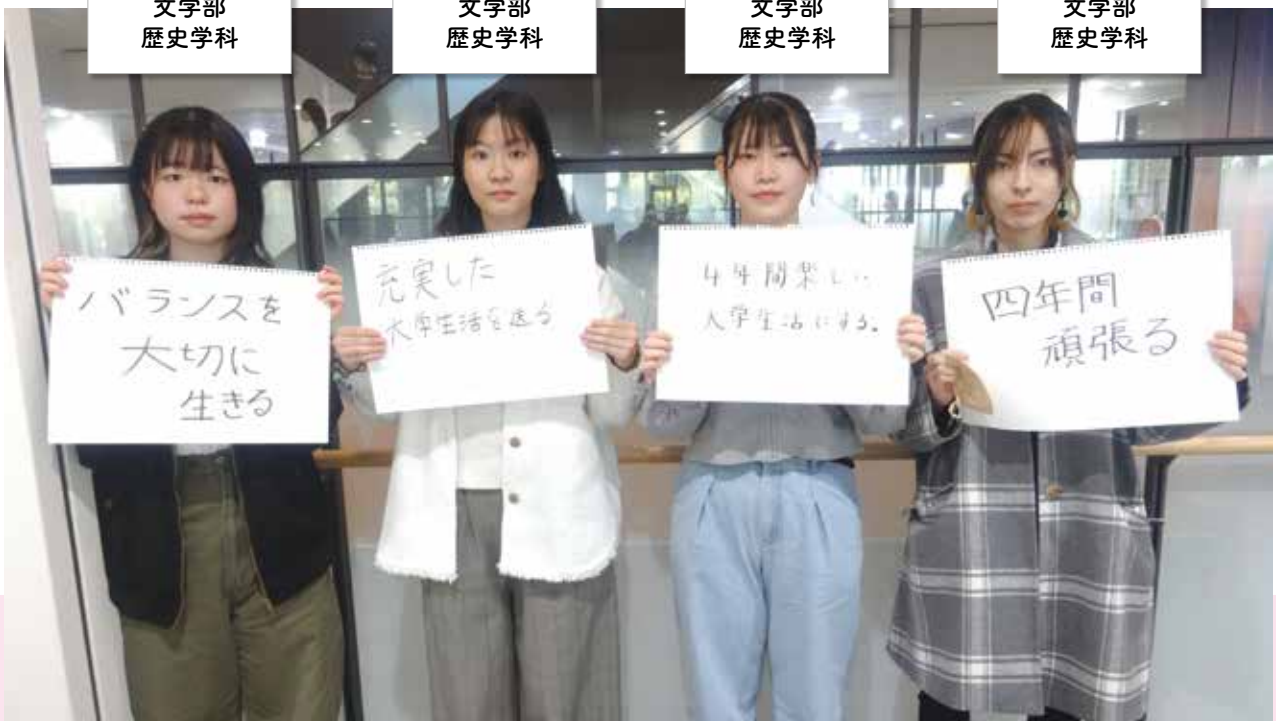
法学部
政治学科

文学部
歴史学科

文学部
歴史学科

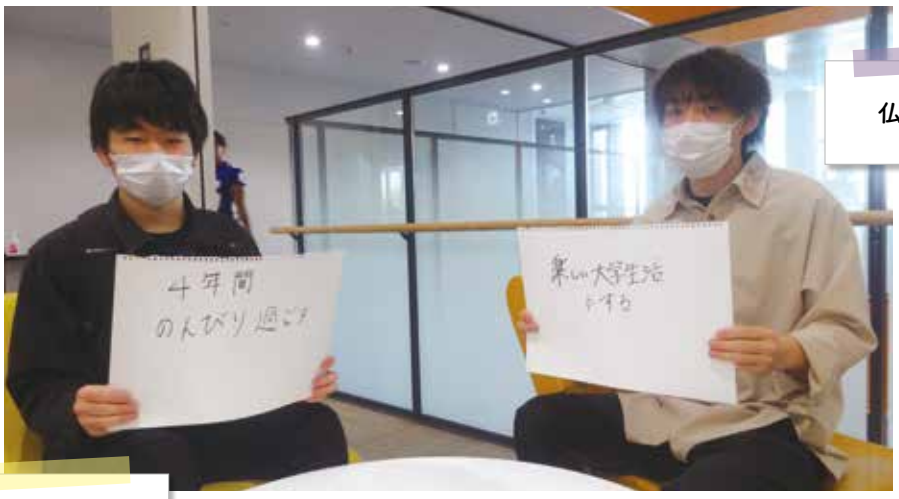
文学部
歴史学科

文学部
歴史学科



文学部
歴史学科

文学部
歴史学科

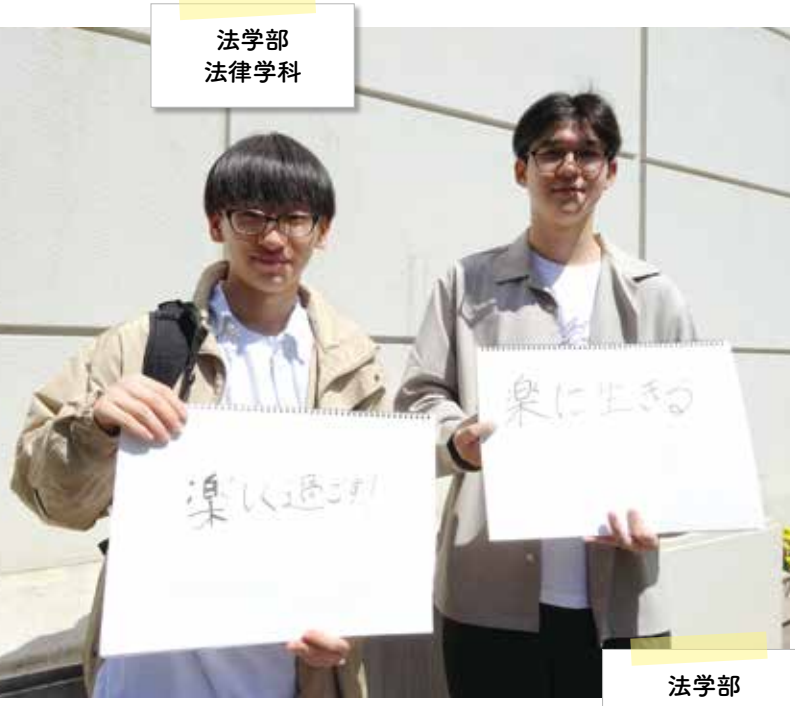


仏教学部

法学部
法律学科

法学部
法律学科

法学部
法律学科



法学部
法律学科

取材を終えて

サークルフェスティバル最終日、会場となった種月館には多くの新入生が訪れていました。歌声や演奏のパフォーマンス、勧誘の声が響き渡る館内の様子から、キャンパスに日常が戻ってきたことを実感しました。われわれの呼びかけに対する新入生の反応は、おおむね良好で、趣旨を伝えると快くペンを手に取り取材に協力してくれました。

取材エリアの拡大に伴い、昨年よりもさらに多くのメッセージを掲載することができたことを心からうれしく思います。

新入生諸君、今日の君たちの笑顔は最高に輝いていたよ!!　4年間の学生生活を、全力で楽しんでくださいね!!

特集2

文学部 英米文学科

文学部 英米文学科について

文学部 英米文学科主任
教授
北原 賢一

本年度4月より英米文学科主任を務めております、北原賢一と申します。英米文学科を代表いたしまして、この記事では私たち英米文学科の紹介をさせていただきたいと思います。

ご存じの通り、AIをはじめ、現代はどんどん科学技術の革新が進み、便利さがとことん追求されています。一方で、便利さと同時に、私たちを取り巻く世界はどうなっているでしょう。LINEやTwitter、TikTokやInstagramで、私たちは誰とでも簡単にコミュニケーションがとれるようになりました。

しかし、人間と人間の関係は、そんなにシンプルになったでしょうか。ますます、複雑さと混迷を深めているのが実情ではないでしょうか。そうでなければ、戦争も紛争も、諍(いさか)いも起こらないはずです。むしろ、簡単にコミュニケーションをとれることが引き起こす問題のほうが多いかもしれません（何か一つ便利になると、それ以上に新しい問題も増える。私たち人類の歴史は、このようなことの繰り返しであるかのようにも感じられます）。

私は、今のような時代にこそ、人間を学ぶ、人間研究が必要であると感じています。

ある学者は、「すべての学問は人間研究に通じる」と言いました。

その意味では、文学部こそ、人間研究の要(かなめ)であります。

そして、私たちの英米文学科も、英語で書かれた文章を通して人間を研究する場です。

「英米文学」には英米の文学という意味もありますが、イギリス英語やアメリカ英語をはじめとする多様な英語で書かれた文（文字としてだけでなく音声も含めた文）を学問として研究するという意味もあります。イギリス文学、アメリカ文学、そして英語学の3本柱からなるのが私たちの学科なのです。

英米文学科では、十人の専任教員と多数の非常勤講師の先生方が熱心に教育研究にあたっています。さまざまな授業を通じて、学生のみなさんは数えきれない英知を学び取ることになります。TOEICや英検など、一定期間努力すれば簡単に成果が出るようなものとは異なり、英米文学科での学びはもっと深く、複雑で、そしてエキサイティングなものです。自分の内なる疑問に向き合い、自分で答えを出すことができる。そのような自律した人間に成長するための指導が行われています。

さらに、4年間の学部での学びに飽き足らず大学院に進学する道を選び、自らの学問研究を深化させる学生も多数おります。混沌とした時代にあってこそ、原点である人間、そして自分を見つめ直し、学問研究を深められる学科でありたいと強く願っております。

上:卒論発表会
下:ゼミ合宿

学生たちの声！ Voices of Students!

英米文学科
4年
沼野 真輝

私は英語教員を志し、本大学の英米文学科に進学しました。私に限らず現4年生は、常に新型コロナウイルスと向き合いながらの学生生活となりました。

しかし、このような困難な状況の中でも、英米文学科の授業やゼミでの授業を通して、興味深い事柄についての理解を深めることができました。特にゼミにおいては、言語学や英文法について深く学び、また、恒例となっている合宿における共同研究を通して、研究に対する意識を高めることができました。

ゼミ内では、私と同じく教員を目指す友人や先輩方とも出会い、模擬授業を見合ったり、情報交換をしたりするなど、協力しながら目標に向かって頑張っています。

普通とは異なる状況の中で出会い、共に困難を乗り越え信頼関係を築いた友人と、助け合い、切磋琢磨しながら、残りの学生生活を充実したものにしたいです。

英米文学科
4年
李 麻衣

英米文学科では英語だけではなく、多言語の学習ができます。私は第二外国語として選択したドイツ語のほか、韓国語の学習にも積極的に取り組み、昨年は韓国への留学も果たしました。留学ではいろいろなプログラムへの参加や、さまざまな挑戦を経て語学力を極め、人脈も広げることができました。

語学の魅力は、その言語の背景に隠れる文化や歴史を学習することで、自分の中に新たな価値観を生み出すことができるところにあると考えています。また、英語をはじめ多言語を扱えるようになれば、さまざまな人と関わる機会も増え、視野も広くなります。そしてその力は、人生の岐路に立たされたとき、多様な選択肢となって皆さんを必ず助けてくれます。

失敗を恐れるより、まずは挑戦することを選択する。その選択を後悔しないように、これからも日々努力をしていきたいと考えています。

英米文学科
4年
岩本 慶和

英米文学科での学びは、物事を多角的に考える力を養うことができます。特に私が所属するゼミナールでは、イギリス人教授と学生同士のディスカッションを通じ、英語だけでなく、異文化理解も深めることができます。これらの知識はバンクーバー留学において非常に役立ち、私はビジネスクラブでの長期インターンシップに挑戦することができました。

また、移民都市での異文化交流は、パッションを持って生きることの大切さを教えてくれました。そして現在は、国際的視野でキャリアについて考えることができています。

就職活動では第一志望のメガベンチャー企業から内定をいただき、英語学習においてはTOEIC900点を取得することができました。

卒業後はこれらの知識や経験を活かし、将来のビジョン実現のため、グローバルに活躍できる人材に成長します。

教員ピックアップ

専門分野 英語音声学

英米文学科
教授
佐藤 真二

さまざまの感謝をこめて

こんにちは。文学部英米文学科の佐藤真二です。

私は、駒澤大学では、大学院で5年間学び、そして専任教員になってからは25年以上も教鞭をとらせていただいております。駒澤大学には随分長い間お世話になっていますが、この大学の落ち着いた雰囲気が、最近ますます好ましく感じられるようになっています。

さて私の専門分野は、英語そのものを研究する英語学の中でも、英語の音声・発音を研究する英語音声学です。2000年から2年間、在外研究制度で、イギリスのロンドン大学に在籍し、ロンドンの発音の現地調査をさせていただきました。本来は専門的に音声記号を使って表記しますが、わかりやすくカタカナを使って表記しますと、ロンドンの発音は、day(デイ)を「ダイ」と発音するように、「エイ」を「アイ」と発音をするなどの特徴をもっています。マーケットを回って、そこで働く人々がどのような発音をしているのかを聞いたり、インタビューをさせてもらったりしたことなど、懐かしく思い出します。

その後も英語の発音の変化に関する研究を続けています。皆様の多くもご存じかと思われる、ビートルズのジョン・レノンの発音も研究しました。ジョン・レノンはイギリスの北部、リバプールという町の出身です。リバプールでも簡単な調査をしたことがあります。人々はとても気さくで協力的でした。イングランドの北部では、love(ラブ)が「ロブ」、come(カム)が「コム」のような発音になります。ジョン・レノンはまた、最後の十年近くをアメリカのニューヨークで過ごしました。もともと身に付けていたイングランド北部の発音と、イギリスの標準語であるイングランド南部の発音、そしてアメリカの発音が、ジョン・レノンの中でどのようになっているのか、また話すときと歌うときの違いはあるのかなどを研究しました。以前から徹底的に調べてみたいと思っていたことを時間をかけて研究する機会をいただいて、誠にありがたく感じています。

ゼミでは、そうした発音の違いを、イギリス英語・アメリカ英語・オーストラリア英語など国別の違いのほかに、イングランドの北部・南部のような国内の相違、また、社会階級や年齢、性別などによる違いを、ドキュメンタリーや音楽、映画、テレビ番組などの音声を用いて研究しています。ゼミ生は、私の知らなかった材料や、私の気づかなかった視点で研究し、それを発表してくれることも多く、私にとってもとても充実した時間となっています。

皆様も耳にしたことがあるかと思いますが、駒澤大学の学生は人間がとても良いといわれます。その通りで、学生にも恵まれました。ゼミでの合宿や食事会などはとても良い思い出です。最近はコロナ禍でそういうことができずに残念に思っておりますが、自分の年齢や体力などを考えて、それもよいのかなとも思っています。

まだ少し先ですが。私も退職をして大学を離れると、ますますこの大学を懐かしく思うことになるでしょう。

言語調査で訪れたロンドンのマーケット

教員ピックアップ

専門分野　イギリス演劇

英米文学科
教授
逢見 明久

シェイクスピア劇の背景とその精神

私の主な研究対象はイギリスの劇作家シェイクスピアです。シェイクスピアは大航海時代や活版印刷術の恩恵を受けたルネサンス期に活躍しました。今回はシェイクスピア劇の背景とその精神についてご案内します。

シェイクスピアが座付き劇作家として関わった劇場は「地球座」と名づけられていますが、地球座は「パブリック・シアター」と呼ばれる桟敷席と平土間（立ち見席）を有する半野天円形劇場でした。屋根のない中央の平土間には主に肉体労働者が、それを取り巻く屋根の下の桟敷席には比較的に身分の高い市民がいたといわれています。地球座はサザークと呼ばれるテムズ河南岸の区域に位置していることもあり、異国からの船乗りや商人も訪れ、観客の国際色は豊かであったことでしょう。世界を映す舞台を求める志が、劇場の名前に反映されているようです。

パブリック・シアターは中世のストリート・シアターを起源とするものであり、ストリート・シアターは中世の聖史劇と呼ばれる芝居から発展しました。聖史劇は13世紀ごろからヨーロッパ各地で広まりましたが、イギリスにも伝わりサイクル劇として残り、ヨーク・サイクルなどが有名です。聖史劇は活版印刷術が普及する以前、文字が読めない民衆にキリスト教の教えを強化するために、クリスマスなどの祝祭に合わせて街路において、その土地の言葉で上演されました。通常のキリスト教のミサなどはラテン語で行われる慣習があったことから、聖史劇が「民衆に開かれた舞台」であったことがわかります。その精神は、シェイクスピア劇に受け継がれています。

「この世は全て一つの舞台、人は皆、男も女も役者に過ぎず、それぞれ舞台に登場しては退場していく。舞台は年齢によって七幕に区切られ、それぞれの役を演じる」。これはシェイクスピアの喜劇『お気に召すまま』の二幕七場、ジェークイズの言葉です。それによれば、人生の第一幕は乳母に世話される赤ん坊に始まり、第二幕は学校嫌いな小学生、第三幕は恋心に胸を焦がす若者、第四幕は名誉欲と出世欲に目の色を変える壮年の軍人、第五幕は良識ぶりつつ賄賂の誘惑に負ける中年の裁判官、第六幕は肉体的に下り坂にある老人、最後に第七幕の死の忘却で締めくくられるとあり、虚飾に惑う人間の弱さに触れた警句になっていることがわかります。

ジェークイズは追放された公爵に仕える貴族で、権力欲のために肉親を不当に扱うような不条理な世の中を批判的に見ています。ジェークイズが語る第七幕「闇に閉ざされた全くの忘却、歯もなく、目もなく、味もなく、なにもない」とは、利己主義が行き着く孤独で虚無な末路を暗示する警告とも解釈できます。シェイクスピアの人生観の根底には、自身の弱さを自覚し、他者の弱さを寛容に見守る謙虚な姿勢がうかがえます。「優しいシェイクスピア」と呼ばれるゆえんです。

このゼミに注目!

本村 浩二ゼミ

- 専門分野：アメリカ小説
- 演習テーマ：アメリカ合衆国におけるRaceとGender

英米文学科
教授
本村 浩二

わたしのゼミの研究テーマは、アメリカにおけるRaceとGenderです。主にこの両観点から、アメリカ文学の「名作」と呼ぶにふさわしい短編を読んでいます。英語の読解力を向上させながら、RaceとGenderをめぐる諸問題にたいする興味関心を深めること。自分で議論を作る能力を養い、なにかオリジナルな意見が言えるようになること。わたしのゼミでは、こうしたことを重要な目標として掲げています。

Raceとはなにか？　Genderとはなにか？

前期の授業は、このような基本的な問いかけをすることからはじまります（ちなみに、このどちらの概念も厳密に定義づけることが、きわめて難しいものです）。次に、文化論の資料（英文）を用いて、アメリカ合衆国の歴史におけるもっとも注目すべき人種関係――白人と黒人の複雑微妙な関係――について考察します。その後、家父長制やフェミニズムといった学術用語に目を向けて、それぞれの意味内容を確認してから、具体的な短編の読解に入っていきます。

前期の終盤から後期にかけて取りあげるのは、人種、民族、性、時代を異にするさまざまな作家たち――Kate Chopin（1850―1904）、Eudora Welty（1909―2001）、Richard Wright（1908―1960）、Alice Walker（1944―）など――の短編です。これらの作家たちは各々の短編のなかでRaceとGenderを、いかなるかたちで表現し物語化しているのか？　物語の世界を通じて、このふたつの社会問題の根幹へと深く迫っていきます。加えて、さまざまな短編を同一の観点から並べて読むことで、その先になにが見えてくるのか？　そうした疑問についても、ゼミのなかで学生たちと一緒によく考え、一緒に熱く語り合っています。

近年の卒業論文

【文化論】

- アメリカン・コミックスに見る人種観の変化
- 異人種間結婚について
- アメリカンドリームの多様性
- ジム・クロウ法時代における黒人社会
- “Slave Narrative”から見る奴隷制度

【作品論】

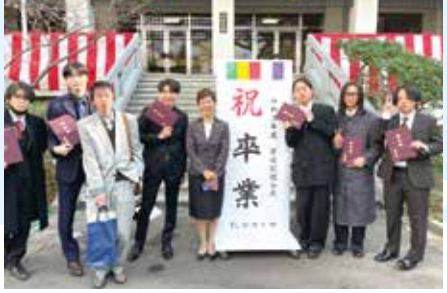
- 『ティファニーで朝食を』に関する一考察
  ――ホリー・ゴライトリーの求めた自由
- 『ハックルベリー・フィンの冒険』における
  主人公の「罪」と「良心」
- *The Shining*の複雑なホラー性
- Alcott の理想の女性像
  ――*Little Women*に関する一考察
- Literary Value of Ernest Hemingway’s
  “Big Two-Hearted River”

英米文学科3年
望月 颯

学生からの一言コメント

このゼミでは、人種とジェンダーの二つをメインテーマにしてアメリカ文学の短編を読んでいます。私は英語の教員を目指しているので、人種やジェンダーといった現代でも世界の大きな問題となっているその二つのテーマについて知ることが、将来教員になるために必要な教養になるのではないかと思い、このゼミに入りました。

ゼミの授業では、英語の読解力の向上はもちろんのこと、アメリカの歴史や文化についても、みんなで一緒になって考えています。普段考えることもなかったようなアメリカの実状を紐解いていくことに、文学研究の面白さを実感しています。



上石ゼミ第1期生の卒業式

このゼミに注目！

上石 実加子ゼミ

- 専門分野：イギリス詩
- 演習テーマ：キプリングの文学と同時代表象

英米文学科
教授
上石 実加子

私のゼミは、主に19世紀イギリス・ロマン派の詩や、ラドヤード・キプリングなどのようなインド生まれのイギリス人作家を扱った短編小説も研究対象としています。「英詩」は日常の言語とは異なる表現や言葉遣いを含むことから、「使える英語」とはかけ離れたイメージがありますが、そうした耳慣れない言葉や表現を、私たちが馴染みのある英語にどのように置き換えることができるのかを考えることで、逆に日常の英語表現を深く意識できます。また、ロマン派の詩人たちが表現した自然や人間の内面世界は、私たちの想像力や創造性を刺激してくれます。ゼミ生たちは、さまざまに感性を働かせながら、詩人たちの生きた時代と現代に生きる自分たちとを比較しながら、多様な視点で詩を読んでいます。

私はこれまで、ラドヤード・キプリングという作家も研究対象としてきましたので、ゼミでは、キプリングの短編小説も扱います。キプリングは『ジャングル・ブック』や『少年キム』といった作品が有名ですが、ゼミでは、あえて日本語に翻訳されていない短編を読み解き、英語にじっくり向かい合うことを大切にしています。

3年ゼミの前期では、輪読によって作品理解を深め、ゼミ生同士で解釈の違いを共有した後、同じ作品を対象にしてそれぞれがテーマを決め、より発展的な研究を行って、その成果を発表してもらいます。1つの作品から多様な解釈が可能であることをここで学び、これが卒業論文における問題提起や章の組み立ての基礎となります。後期には、それぞれが卒業論文の研究テーマを選定し、ゼミ内で文献検索や先行研究の調査について共有していきます。

4年生の前期に、6月末の論題提出を見据えて、卒論構想発表会を行います。夏休みには執筆を開始し、後期は個別指導を組み合わせて論文執筆に全力投球し、12月に論文を提出、翌年1月に卒論発表会を開催し、3月にはゼミ論集を刊行しています。この一連のゼミ活動で主体的な調査や研究の仕方を身に付けることで、新たな気づきと深い学びに出会い、今後のスキルアップにつなげていきます。皆さんと共に、自己啓発マインドを育む想いをもって進めています。

4年ゼミ卒論構想発表会の風景

3年キプリング研究ゼミ

過去2年のゼミ論集

英米文学科4年
元木 賢

学生からの一言コメント

私たち上石ゼミはイギリス近代詩を主な研究対象としています。「詩」と聞くと、一見とっつきにくい感じがしますが、自分なりの解釈を作り上げていく過程には、正解のない答えを探しながら、自分自身の創造性を広げていくような素晴らしさがあります。また、「詩」には省略や比喩表現が多用されていることが多いため、言葉を補って考える必要があることから、英文の構造を再確認することができます。さらに、言葉の表面的な意味だけでなく、その言葉に宿る複数の意味に触れることで、読むたびに新たな発見があります。さまざまな詩の技法や、そこに生まれるリズムは、私たちが英語の「音」を考える原点にもなっています。

地方で活躍する駒大卒業生の皆さん

第19回

輝く卒業生に
Close Up!

長野県中学校教諭

松林 花奈 さん

長野県長野市出身
長野県須坂高等学校卒業
駒澤大学文学部
歴史学科日本史学専攻卒業（2019年3月）

「学校が好き！」で就いた教員職

私は今、長野県にある中学校で1年生の学級担任として働いています。高校まで長野県で育ち、駒澤大学を卒業した後、地元の教員採用試験に合格をし、働くことになりました。

どうしてこの仕事を目指したかというと、小さい頃から地元で働きたいと思ってはいたものの、具体的な夢は決まっていませんでした。そのような中、進路を決める懇談で「学校が好きだから卒業したくない！働きたくない！」と無茶な相談を担任にしたところ、「じゃあ、大人になったら学校で働けばいいよ。花奈は学校の先生に向いているよ」のひと言。この言葉に舞い上がり、そこから教員を目指すようになりました。なんて単純な理由なんだと、書いている自分でも思うのですが、実際大好きだった学校に大人になった今でも働けているのはとても幸せです。

このように漠然と教員になりたいと思っていたので、歴史学を学びながら、教員免許も取得できる駒澤大学に進学をしました。地元を離れての東京での一人暮らしに、最初の半年はかなりつらかった記憶があります。その私の大学生活を一転させてくれたものが、部活動でした。4月に行われたサークル見学で、「このまま東京の大学でなんとなく過ごすのはいやだ。せっかく駒澤大学に入ったのだから、この大学ならではの部活動に入部して、駒澤大学を好きになって卒業したい！」と思い、探していたときに出会ったのが、体育会系應援指導部ブルーペ

ガサスでした。應援指導部とはその名のとおり、駒澤大学にある運動部を応援する部活動のことです。「運動部の選手は大学の名前を背負って戦ってくれている。その選手を応援すれば、きっと自分が入学した大学を好きになれるのではないか…！」という、これまたぶっ飛んだ発想で入部を決めたのですが、この作戦は大成功で、4年間で駒澤大学のことを大好きになりましたし、今でも駅伝等で母校の名前を見ると「自分もがんばろう」と励まされるので、本当に入ってよかったと思っています。

今年度、私は1年生の学級担任を務めています。初めての学級担任で毎日が勉強の日々でとにかく本当に忙しいのですが、そんなことを忘れるくらい、自分の学級の生徒と過ごす時間がとにかく楽しいです。私のクラスには生徒が三十五人在籍しています。その一人ひとりに大切に育ててくれる家族、そして将来の夢があります。入学式で保護者の方の前でお話をさせていただく機会があり、その人数の多さに身が引き締まりました。この仕事はお金や売り上げなど、目に見える成果が全くない仕事です。正直大変なことも多いですが、生徒が成長したり、夢をかなえたりする瞬間に立ち会えたときは全身が震えるほどうれしく、涙が出ます。日本の未来をつくるのは目の前にいる子どもたちです。この仕事は日本の未来をつくる要だと私は思っています。そのような仕事に就けていることを誇りに思い、明日からも日々精進していきたいです。

長野県は都会とは違い、自然が豊かで、住んでいるだけで生きる活力をもらえます。休みの日には自転車をこいで近くの湖を一周してみたり、少しドライブをすると桜の名所があったりと、都会では味わえない緩やかな生活を送ることができます。これからの季節は、特に山登りがおすすめです。長野県の中学校では学校行事で登山があるほど、山は身近な存在です。また、私の住んでいる地域では「御渡り」と呼ばれる自然現象があります。これは、寒い時期に湖が全面結氷をし、その氷が裂けて、氷の山脈が生じるものです。このように、地方での生活の良いところは、1年を通して、気温だけではなく、自然環境と共に四季を感じられるところだと思います。ぜひ、自然豊かな長野県に、みなさん遊びに来てください。

特集3

キャリアセンター通信

気になる！就職活動

キャリアセンター
就職課長
猪越 千帆

保護者の皆様にとって、お子様の就職活動は大きな関心事かと思います。大学受験と違い正解がわからない就職活動において、支援の仕方に戸惑う場面が多いようです。

そこで、現在の就職活動の実状をお知らせすることで、お子様との関わり方のヒントになればと思います。

2024年卒の新卒採用スケジュール

政府は2024年卒の大学生を対象にした就職・採用活動の日程について、左記の方針を決定しています。

- 会社説明会など広報活動開始：大学3年生の3月1日以降
- 面接など選考活動開始：大学4年生の6月1日以降
- 正式な内定日：大学4年生の10月1日以降

しかし、実際はスケジュールより前倒しで会社説明会や選考を実施する企業が多数あるので、早期化に対応するために情報収集をしっかり行う必要があります。

2024年卒の採用動向

株式会社ディスコが2023年2月に発表した「新卒採用に関する企業調査」（★図1）の結果によると、2024年卒の採用見込みについては、「増加」が32・8％、「2023年卒並み」が53・5％に対して、「減少」と答えた企業は6・1％にとどまっています。

コロナ禍が落ち着きを見せ、多くの業界では人材不足が課題になっており、企業の採用意欲は高まっています。採用の難化により、2023年卒で目標の充足が難しく、2024年卒で確保したい企業もあるようです。

インターンシップの重要性

インターンシップへの参加が、就職活動の一環といっても過言ではないくらい、多くの学生がインターンシップに参加しています。

インターンシップのメリットとしては、

- 業界・企業・職種理解
- 企業理解を深めることでミスマッチを防ぐことができる
- 社会人とのコミュニケーションに慣れる
- 働くことや自分が働く姿をイメージしやすくなる

などが挙げられます。

2024年卒の就職状況

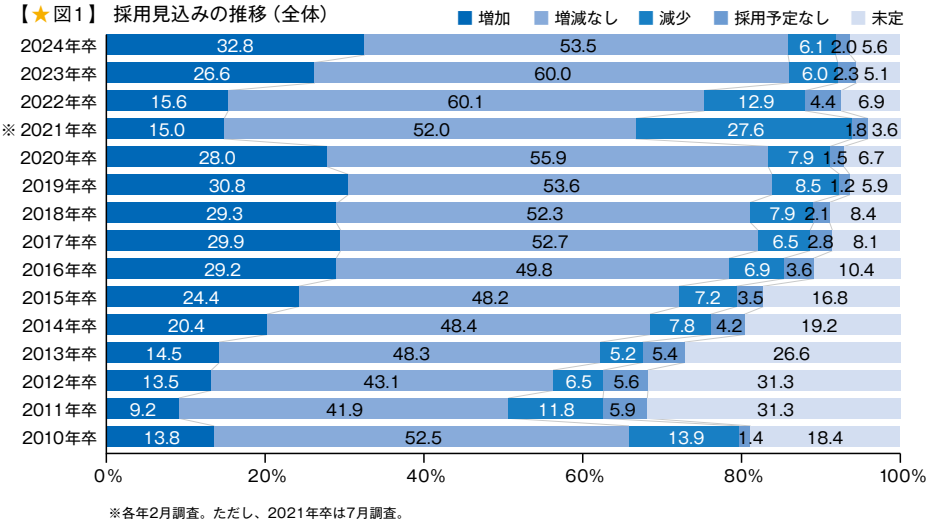
リクルート社の調査（★図2）では、2023年4月1日時点の大学生の就職内定率は、48・4％（＋10・3ポイント）と前年に比べ高い水準になりました。

内定率は例年に比べ高くなっていますが、内定取得者の就職活動実施率は64・8％で前年と同水準です。これは、大手企業の選考が本格開始され、選考結果が出る6月以降までは、内定取得者でも就職活動を継続する学生が多いことを表す毎年の傾向に

なります。

周囲にはすでに内定をもらっていたり、選考が進んでいる友人がいたりと、焦りを感じることがあるかもしれませんが、内定はゴールではありませんので、しっかりと情報収集を行いながら自分の価値観や仕事への理解を深めて就職活動に取り組むことが必要です。

【★図1】 採用見込みの推移（全体）

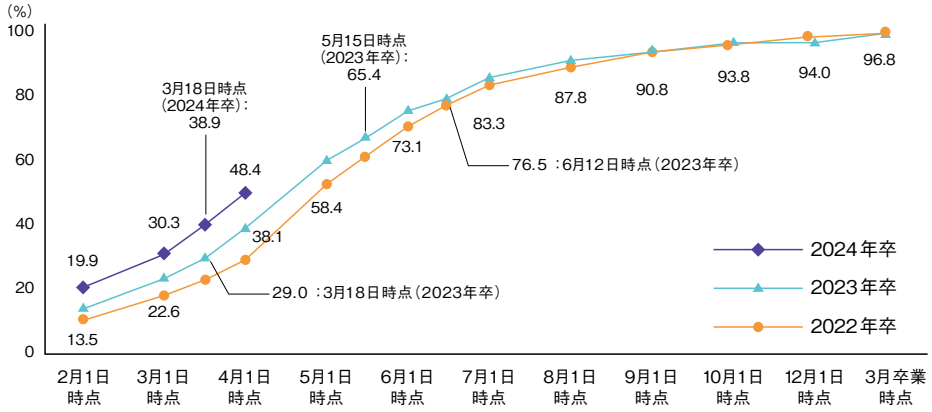


※各年2月調査。ただし、2021年卒は7月調査。

採用方法の多様化

少子高齢化に伴い労働人口が減少している状況において、企業が優秀な人材を確保するために、あらゆる方法で採用活動を行っていることが採用方法の多様化につながっています。

【★図2】就職内定率　大学生全体（就職志望者／単一回答）※大学院生除く



- 採用直結インターンシップ
- スカウト型：企業側が興味を持った学生にアプローチする
- 就活エージェント：求人紹介など
- 新卒向けハローワーク：求人紹介
- リファラル採用：企業が自社の社員から人材を紹介してもらう

保護者様にお願いしたい支援

就職活動を自主的に進められる学生がいる一方、何から始めてよいかわからず、動き出せない学生がいます。また、一人で悩んでしまうと、自分が何をすべきか何をしたいのかがわからなくなり、思うように就職活動が進まなくなることがあります。お子様が不安やストレスを抱えているようでしたら、キャリアセンターを活用することを勧めていただきたいと思います。話をすることで解決の糸口が見えることもあり、やる気につながる場合があります。

キャリアセンターの支援

〈1年～2年〉

イベント：キャリアデザイン講座、キャリアガイダンス、インターンシップなど

働くことのイメージを早期に持つことにより、自分に合った業界や職種への意識を高めます。

〈3年～4年〉

イベント：就職ガイダンス、就活集中セミナー、インターンシップ、OB・OG相談会、業界研究講座、合同企業説明会など

本格的な就職活動に向けての心構え、就職状況の分析、業界研究の方法、企業・職種理解、自己分析の方法、エントリーシートの書き方、面接指導など、具体的な支援をします。

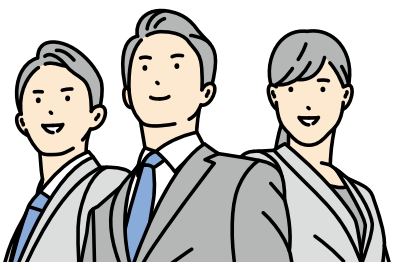
〈個別相談〉

エントリーシートチェック、模擬面接はもちろん、学生の不安に寄り添い、学生が自分をしっかり理解した上で職業選択を行い希望の進路へ進めるよう、学生一人ひとりに合わせたきめ細やかな相談を行っています。

〈就職支援システム〉

大学独自のシステム（キャリナビ）で求人情報、先輩の就職活動体験記、イベント情報、大学指定履歴書など、さまざまな情報を検索できます。

就職活動では内定をもらうことがゴールではありません。早期からキャリアを意識し準備することはもちろん大切ですが、まずは学業に励み、やりたいことにチャレンジし、大学生の時にしかできない体験をしていただきたいと思います。その結果が就職活動、ひいてはその後の人生の糧となります。キャリアセンターとしては、学生自身が納得して就職活動を終わらせることができるかが重要だと考えていますので、しっかり支援していきたいと思います。



先輩からのアドバイス
就活体験記

この春（2023年3月）に卒業されたお二人から、就職活動を振り返っての感想と後輩の皆さんへのメッセージを寄せていただきました。

グローバル・メディア・スタディーズ学部 グローバル・メディア学科卒業
金田 桃子 さん

可能性は無限大、好奇心を持ってみる

アデコ株式会社
就職

私は3年生の6月から就職活動を始めました。当初は特にやりたいこともなく、さまざまな業界の説明会やインターンシップに参加し、自分が働くイメージが持てるかどうかということを考えながら就職活動を進めていました。

私が皆さんに伝えたいことは二つです。一つ目は、業界や仕事、そして自分自身に偏見を持たないことです。「自分には向いていないかも……」と思っていた業界でも、きちんとその仕事内容や社会への提供価値を知ることで興味が湧き、良いご縁につながることも多くあります。二つ目は自己分析の徹底です。私は自己分析を通して自分の強みを明確化できたことが力になりました。他人のことがうらやましく思えても、自分の強みをきちんと理解していれば全く影響されることはありません。おっくうかもしれませんが、感覚ではなく、自分の人生を一から振り返って、どういった要素で今の自分が形成されているのかということを理解することが大切です。これは、面接で自信を持って話せるだけでなく、自分が将来、どんな環境で何を大切にして働きたいのかを考えるときのヒントにもなると思います。

つらい瞬間もあると思いますが、ぜひ新しい知識を吸収するという楽しむ気持ちを忘れず、好奇心を持って取り組んでほしいと思います!

経営学部 市場戦略学科卒業
Y・S さん

やりたいことに忠実に、早期化に惑わされない！

マスコミ関係
就職

就職活動を始めたのは大学3年の6月で、マスコミ業界を志望していました。就職早期化の噂を聞きつけ、業界問わず多くのインターンや早期選考に参加していました。早めの準備が功を奏したのか、4年の6月には金融業界など4社から内定をいただきました。ただ、志望していたマスコミ業界からは内定をいただけず、一度就職活動を終えました。

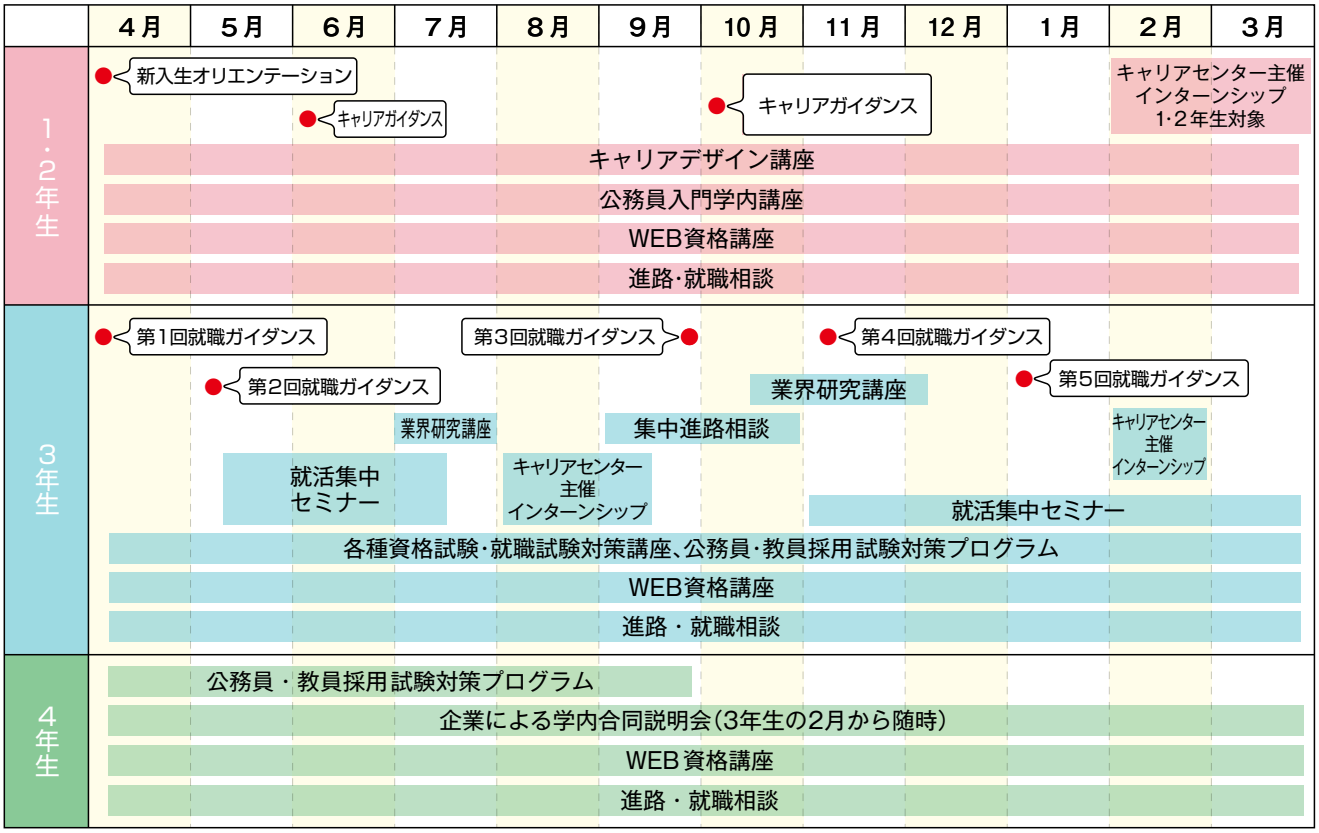
その中で7月、転機となる出来事が起きました。安倍晋三元首相銃撃事件です。二次被害のリスクがあるにもかかわらず、「真実」を伝えるために命がけで取材する記者たちの姿に刺激を受け、再び就職活動を始めました。当時幹部として部活動にも取り組んでいたため、就職活動との両立が大変でした。そこで、通学や練習後の時間を活用して面接練習や英語学習、論文対策に取り組みました。そして11月、憧れのマスコミ業界から内定をいただきました。

就活の早期化が進んでいることから、「早期内定」の価値が高まりつつありますが、一番大切なのは「いつ内定をもらうか」ではなく、「どこから内定をもらうか」だと思います。早期化にとらわれすぎず、最後まで自分のやりたいことにこだわりながら就職活動に励んでほしいと思います。

気になる！就職活動　キャリア・就職支援スケジュール

キャリアセンターでは、各年次向けの進路支援活動を行っています。1年生から4年生、また既卒者の相談にも応じ、就職のバックアップをしています。大学でのキャリア形成に役立つサポートを上手に活用することが、就職への近道です。

ここでは、スケジュールをご覧になり、どのようにキャリアセンターと関わっていけばよいのか、各年次の目安としてください。多彩なサポートシステムを大いに利用しましょう!



実施日時・教場などは「掲示」や「キャリアセンターのホームページ」でお知らせをしています。

◆事前申込要　◆事前申込不要　★受講料要　★受講料不要　■随時受付

各項目の解説	◆	★	新入生オリエンテーション	進路を考えるうえでこれからの学生生活がどのようにかかわっていくのかをお話しします。
	◆	★	2年生キャリアガイダンス	2年生対象の講座です。自分と向き合うきっかけ、職業観の涵養、就職市場では、今、何が起きているのか！早期化する就活に対して、キャリア形成の意識づけをしていく講座です。
	◆	★	キャリアデザイン講座	低学年次から自分の将来について意識してもらい、キャリア・進路を考えていく講座です。
	◆	★	インターンシップ	一般企業や自治体で就業体験することで、自分なりの職業観の形成に役立ちます。
	◆	★	3年生就職ガイダンス	就職への心構え、就職戦線の状況解説講演会、就職活動時のマナーなどのアドバイスなど。
	◆	★	就活集中セミナー	学外の就職コンサルタントが「自己分析の仕方」「エントリーシートの書き方」「模擬面接」など実践的な就職活動の指導を行います。
	◆	★	業界研究講座	様々な業界の人事担当者が企業の姿や働くことの意義、求める人材像等をお話しします。
	◆	★	合同企業説明会	時期に合わせた開催規模で実施し、参加企業が駒大生限定で個別説明を行います。

就職・資格試験対策講座	◆	★	就職試験対策	公務員対策：専門学校（資格の大原）と提携し、充実したプログラムを用意。また、クラウド型学習サービス「公務員試験学習ツール」(㈱TKC) が1年間無制限に利用可能。
	◆	★		教員採用試験対策学内講座：専門学校（東京アカデミー）と提携し、充実したプログラムを用意。
	■	★		文章（基礎力養成）講座：作文・小論文対策を含む、就活にも役立つ文章力を育成。
	◆	★		就職対策特別講座：内定を獲得するための特訓プログラムです。
	◆	★	資格試験対策	WEB資格講座：MOS・FP技能士・宅建士・簿記・TOEIC・秘書検定など、学生に人気で仕事に役立つ27のWEB資格講座が年間1万円（税別・テキスト代別）で受け放題。

オススメ情報	駒澤大学に送られてきた求人票を見るためのサイト	駒澤大学求人検索システム キャリナビ	本学学生であれば学外からも閲覧可能です。[KONECO] からアクセスしてください。
	本学 OB・OGが残してくれた就職活動の記録		企業ごとにいつ頃・どのような試験があったか、どのような対策を行って内定を勝ち得たか、生きた情報です。キャリアセンターの資料室とホームページから閲覧可。

駒澤大学教育後援会の活動紹介

駒澤大学・大学院に在籍する学生の保護者（保証人）の皆さまを会員として、昭和34年に設立された組織です。大学と家庭との連絡を図り、教育的効果の向上に協力すると共に、会員相互の親睦と福祉に寄与することを目的としております。会員の皆さまの中から選出された委員が、さまざまな行事や広報の運営を行っております。ここでは、教育後援会の活動を紹介いたします。

会員の皆さまが参加できる行事

1月第3土曜日

新年賀詞交歓会

毎年都内の会場で行われるこの会。美味しい料理を食べながら、教職員や同じ学部の保護者の方と交流できる機会です。サークルのアトラクション、福引抽選会と楽しいイベントが盛りだくさんです。毎年11月号の会報で参加募集をしています。

10月

一泊参禅研修会

秋に福井県の大本山永平寺、神奈川県の大本山總持寺において、毎年（それぞれ隔年で）行っています。

普段の生活から離れ、曹洞宗の大本山で修行体験はいかがでしょうか？ 毎年7月号の会報で参加募集をしています。

5月第2土曜日

定期総会・駒沢キャンパス構内見学会

●定期総会…昨年度の活動等を会員の皆さまにご報告します。

●駒沢キャンパス構内見学会…図書館・禅文化歴史博物館・学生食堂を自由に見学・利用いただけます。また坐禅堂において、参禅部の協力のもと、坐禅を体験することができます。

6月~7月

教育懇談会

駒澤大学と共催で、全国各地の会場に大学担当者と教育後援会代表が伺います。

大学の近況をご報告すると共に、学業成績や就職等について説明いたします。

※令和5年度は4年ぶりに対面での開催。

サークル応援

各試合・発表会の情報はホームページにてご確認ください。

駒澤大学はサークルも頑張っています！皆さんで応援に行きましょう！

広報活動

会報の発行

毎年3回、7・11・3月に発行しています。駒澤大学での学生生活、大学からの情報、教育後援会の活動報告を紹介します。

※大切な情報もありますので、ご住所を変更された際は、大学に住所変更をお届けください。

カレンダー、パンフレットの作成

カレンダーには教育後援会の行事予定のほかに、学生の行事、授業の予定も記載されています。

3月発行の会報と共に、翌年度のカレンダーをお送りします。

ホームページ

教育後援会の活動のほかに、サークル情報、学生生活の報告など、随時更新中です。

https://www.komazawa-k.org

支援

家計急変学生に対する一時給付金の支給

保護者（保証人）の死亡等により家計が急変し、就学を続けることが困難になった学生を対象に、月額5万円を6カ月支給しています。

助成金・祝賀金・褒奨金

学生のサークル活動の育成・支援のために助成金、祝賀金を支給。また、功労が認められた団体・個人に褒奨金の支給を行っています。

学内奨学金資金への寄付

「学業奨励型」、「経済支援型」として給付している学内奨学金の原資として寄付しています。

教育施設等充実助成支援（令和４年度）

- 駒澤大学教育後援会奨学基金
- 学生への食育支援事業（100円朝食）
- スポーツ推薦選抜適用サークル学外指導者補助費
- 家計急変学生に対する一時給付金
- 「駒Dining」夜間営業による玉川キャンパス利用サークルへの食育支援事業
- 学位記ファイルの発注（購入費補助）
- 私費留学生・交換留学生への卒業記念品贈呈事業
- 学生団体における上級救命講習受講者支援
- 「オータムフェスティバル2022」ステージ・テント設営（レンタル）
- 屋外テーブルの増設購入（感染症対策）
- 令和4年度 就活集中セミナー受講費支援
- 面接ボックス購入

2023年度 教育後援会執行部・監査紹介

会長 櫻井 秀則

副会長 鈴木 由美子

副会長 山本 健

副会長 大山 朱美

副会長 井垣 達也

副会長 兼松 リカ

監査 粂田 利光

監査 宮坂 弘之

監査 野澤 孝志

監査 土屋 和伸

顧問 久保 伸吾

特別顧問 福田 早苗

駒澤大学役職者紹介

理事長
石川 順之

総長
永井 政之

常勤監事
青山 伸一

学長
教育後援会名誉顧問
各務 洋子

副学長
教育後援会名誉顧問
吉田 尚史

副学長
教育後援会名誉顧問
遠藤 司

総務局長兼財務局長
教育後援会名誉顧問
多良 和己

教務部長
教育後援会学内幹事
絹川 真哉

学生支援センター所長
教育後援会学内幹事
松田 健

図書館長
櫻井 陽子

仏教学部長
奥野 光賢

文学部長
中野 達哉

経済学部長
番場 博之

法学部長
井上 健一

経営学部長
中川 淳平

医療健康科学部長
嶋田 守男

グローバル・メディア・スタディーズ学部長
服部 哲

総合教育研究部長
河谷 淳

法曹養成研究科長
青野 博之

特集 4

教育後援会 定期総会報告

教育後援会総務部 部長
段中 明紀

令和5年5月13日、令和5年度駒澤大学教育後援会定期総会が開催されました。

今回の開催は新型コロナウイルスの5類移行直後であり、当日午後の駒沢キャンパス構内見学会が事前案内されていたことから、一般会員百十六人と委員六十三人の合計百七十九人が出席し、会場の中央講堂はほぼ満席となりました。

最初に久保伸吾教育後援会会長が昨年度を振り返り、3年ぶりに多くの行事が対面開催できたことについての感謝と新年度活動計画に込めた思いを述べられました。

続いて教育後援会名誉顧問の各務洋子学長よりご挨拶をいただきました。2年前のご就任以来掲げてきた「デジタル化とダイバーシティ」の取り組みを一層進めていくことや、教育後援会の重要性の高まりについて力強く語っていただきました。

次に教育後援会役員が紹介され、続いて学生支援センター厚生課の上野典子課長より教育後援会名誉顧問・学内幹事の先生方、教育後援会事務局担当を紹介いただきました。

引き続き大学近況報告として、吉田尚史副学長よりデータサイエンスAI教育プログラムなどの新たな取り組み、遠藤司副学長より各種学生支援制度の現状についてお話しいただきました。

その後、会則に従い議長は久保会長、議事録署名人として教育後援会総務部の大田純子副部長が選出され、審議事項へ移りました。

第1号議案「令和4年度教育後援会事業報告及び令和4年度教育後援会収支決算報告」では、鈴木由美子副会長より令和4年度の実施事業内容及び収支決算の詳細な説明が行われました。

第2号議案「令和4年度監査報告」では、武井成浩監査より会計処理が適正に行われた旨の監査報告が読み上げられました。第1号及び第2号の両議案は一括審議され、いずれも承認されました。

第3号議案「令和5年度教育後援会事業計画案及び令和5年度教育後援会予算案」では、櫻井秀則副会長から事業計画案の説明と予算案の説明がなされ、承認可決されました。

第4号議案「令和5年度会長・副会長・監査の選出」では、久保会長より櫻井秀則新会長をはじめとする新役員候補者が読み上げられ、承認可決されました。

第5号議案「駒澤大学教育後援会会則改正案」では、山本健副会長より会則改正内容の説明があり、承認可決されました。

その後、報告事項として三重県、福岡県、熊本県、長野県の各支部より支部活動が報告されました。

審議事項及び報告事項すべての終了後、教育後援会伝統の「襷リレー」が行われ、久保前会長から第64代目となる櫻井新会長へ襷が引き渡されると、会場は大きな拍手に包まれました。

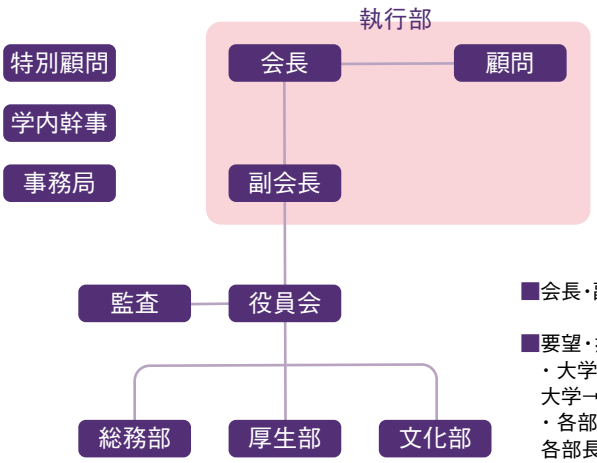
最後に、櫻井新会長から4年ぶりとなる教育懇談会の開催など、新年度の活動に向けた意欲ある言葉で締めくくりがなされ、閉会となりました。

2023年度 教育後援会 委員名簿

執行部・監査			総務部			厚生部			文化部		
役職	氏名	学科	役職	氏名	学科	役職	氏名	学科	役職	氏名	学科
会長	櫻井 秀則	地環	部長	段中 明紀	政治	部長	杉野 友也	政治	部長	髙野 典夫	経営
副会長	鈴木 由美子	法律	副部長	大田 純子	法律	副部長	水野 真智子	現応経	副部長	高井 良子	市場
副会長	山本 健	経営	副部長	齋藤 達	経営	副部長	内藤 眞拓	地環	副部長	仲澤 和茂	法律
副会長	大山 朱美	法律	委員	黒木 藤乃	歴外	委員	安部 裕一	国文	委員	岩田 博樹	政治
副会長	井垣 達也	法律	委員	小島 優幸	法律	委員	安部 和代	国文	委員	岩田 奈美江	政治
副会長	兼松 リカ	法律	委員	田畑 恵	法律	委員	尾形 博	国文	委員	池田 浩	現応経
顧問	久保 伸吾	歴外	委員	段中 亜奈	政治	委員	岡野 陽子	法律	委員	小笠原 政明	経営
特別顧問	福田 早苗	法律	委員	野田 尚美	政治	委員	平林 実	心理	委員	貴志 泰久	社社
監査	桒田 利光	経営	委員	五十嵐 勉	商	委員	古郡 宏隆	心理	委員	山岡 葉子	法律
監査	宮坂 弘之	法律	委員	佐々木 幸男	法律	委員	古郡 珠美	心理	委員	大嶽 利憲	GM
監査	野澤 孝志	商	委員	渡邊 英夫	法律	委員	加藤 忍	市場	委員	大嶽 里佳	GM
監査	土屋 和伸	経営	委員	安彦 真弓	社社	委員	金子 武志	政治	委員	岸本 修治	商
			委員	井上 智子	GM	委員	河村 さおり	経営	委員	小林 誠	法律
			委員	井上 裕之	GM	委員	河村 勇二	経営	委員	関 嘉恵美	医療
			委員	今村 裕	仏教	委員	小斉 志保	GM	委員	関 安則	医療
			委員	今村 亮子	仏教	委員	内藤 貴子	地環	委員	田鴈 和久	歴外
			委員	荻野 将義	経済	委員	山口 麻希	歴日	委員	田鴈 礼子	歴外
			委員	荻野 理乃	経済	委員	青野 英夫	仏教	委員	鶴岡 茂	政治
			委員	菊池 明	心理	委員	秋永 絵美	社社	委員	鶴岡 ナオミ	政治
			委員	湯澤 江理子	政治	委員	秋永 幹夫	社社	委員	平本 正純	法律
			委員	湯澤 信行	政治	委員	阿部 温子	仏教	委員	水野 晃嗣	GM
			委員	芦内 智恵	歴考	委員	阿部 雅代	法律	委員	水野 ザカット	GM
			委員	荒川 陽成	商	委員	井垣 さゆり	法律	委員	安部 浩子	歴考
			委員	大谷 しおり	商	委員	内山 克枝	法律	委員	瀧川 里香	経済
			委員	北川 達也	歴日	委員	金子 久美子	英米	委員	小林 哲夫	商
			委員	北川 千佳子	歴日	委員	近藤 英一郎	社社	委員	中山 祐紀子	地環
			委員	佐々木 元幸	地文	委員	下村 幸一	市場	委員	林 大輔	地文
			委員	佐々木 友子	地文	委員	寺内 正人	法律	委員	林 かおり	地文
			委員	谷口 早苗	法律	委員	成田 一守	市場	委員	松原 浩一	商
			委員	伊藤 克裕	歴外	委員	成田 亜由美	市場	委員	山本 敏彦	法律
			委員	伊藤 花代	歴外	委員	平塚 隆	GM	委員	山本 直子	法律
						委員	平塚 曜子	GM			
						委員	福島 誠	歴考			
						委員	龍前 純子	経済			

※上記名簿は5月13日（土）
定期総会時点のものです。

■駒澤大学教育後援会組織図



■会長・副会長・監査・各部長・各副部長をもって役員会を構成する

■要望・提案等の処理
・大学からの要望等
大学→執行部→役員会→委員総会
・各部からの提案・要望等
各部長→執行部→役員会→委員総会

2022(令和4)年度 教育後援会収支決算報告書　自 2022(令和4)年 4月1日～至 2023(令和5)年3月31日

収入の部　(単位：円)

項目	2022予算額(A)	決算額(B)	差異(B-A)	摘　要
前年度繰越金	109,899,429	109,899,429	0	
入会金	17,505,000	18,500,000	995,000	@5,000円×3,700人（入学者数） ※但し、入学辞退者等対象外となる人数も含む
会費	139,645,000	139,905,000	260,000	@5,000円×27,981件（年会費10,000円） ※但し、入学辞退や9月等対象外となる学生も含む
会合参加費	2,300,000	960,400	△ 1,339,600	夏季委員研修会・委員研修会の参加費
積立金取崩収入	100,000,000	100,000,000	0	積立金の取崩収入
雑収入	400,000	293,588	△ 106,412	銀行利息（普通預金・定期預金）、その他
合計	369,749,429	369,558,417	△ 191,012	

支出の部　(単位：円)

	項目	2022予算額(A')	決算額(B')	差異(B'-A')	摘　要
運営費	会議費	1,250,000	303,967	△ 946,033	総会・役員会等諸経費
	消耗品費	100,000	43,935	△ 56,065	事務用品・消耗品
	印刷製本費	1,100,000	743,953	△ 356,047	定期総会資料等印刷費
	通信費	450,000	264,014	△ 185,986	各種会議等案内状送料・切手等諸経費
	旅費交通費	2,400,000	776,692	△ 1,623,308	各県支部長などの総会等出張費、委員の委員会等交通費
	運営渉外費	250,000	215,770	△ 34,230	卒業委員に対しての卒業アルバム等購入費
	ホームページ経費	2,300,000	2,221,722	△ 78,278	ホームページ更新・管理料等諸経費
	運営雑費	1,250,000	163,440	△ 1,086,560	応援のぼり・応援旗・撮影料等諸経費
	計	9,100,000	4,733,493	△ 4,366,507	
一般事業費	研修費	12,400,000	6,262,827	△ 6,137,173	会員研修会・新年賀詞交歓会等諸経費
	教育懇談会費	4,700,000	2,319,979	△ 2,380,021	教育懇談会 印刷費、荷物等発送費、役員出張費、昼食費、現地経費、オンライン対応等諸経費
	各部活動費	3,400,000	2,569,399	△ 830,601	各部（執行・総務・厚生・文化）活動諸経費
	支部活動費	5,200,000	3,053,081	△ 2,146,919	支部事務費及び運営補助費
	会報等発行費	21,100,000	18,546,863	△ 2,553,137	会報及び卓上カレンダー作成等経費
	弔慰金	1,260,000	390,000	△ 870,000	会員・学生・教職員弔慰金
	事業渉外費	6,680,000	3,813,606	△ 2,866,394	サークル応援・各種学校関連行事への参加費等経費
	事業雑費	0	0	0	掲示物筆耕料・学生アルバイト料
	計	54,740,000	36,955,755	△ 17,784,245	
特別事業費	学生指導費	4,753,000	2,713,800	△ 2,039,200	卒業証書（学位記）ファイル購入経費、上級救命講習受講者支援、その他
	課外活動学外指導者指導助成金	4,950,000	4,630,000	△ 320,000	学外指導者への指導助成経費
	学生奨励費	3,400,000	1,960,000	△ 1,440,000	学生団体及び個人への祝賀金・支援金
	家計急変学生一時給付金	4,800,000	1,200,000	△ 3,600,000	家計急変学生一時給付金
	奨学給付金	26,000,000	26,000,000	0	学内奨学金資金
	国際交流助成金	196,350	194,040	△ 2,310	私費留学生・交換留学生卒業記念品
	スポーツ強化助成金	10,000,000	9,400,000	△ 600,000	スポーツ推薦サークルの強化助成
	文化振興助成金	1,000,000	0	△ 1,000,000	文化・芸術・音楽系サークルの強化助成
	就職・キャリア支援助成金	6,440,000	6,439,950	△ 50	就職ガイドブック制作費、就活集中セミナー、面接ボックス購入費
	食育支援事業助成金	12,259,500	6,123,110	△ 6,136,390	100円朝食助成、玉川キャンパス食育助成
	教育施設等充実助成金	103,968,800	103,569,500	△ 399,300	屋外テーブル増設購入費助成、新図書館建設事業募金
	大規模自然災害被災者見舞金	1,800,000	150,000	△ 1,650,000	大規模自然災害の被災者見舞金
	計	179,567,650	162,380,400	△ 17,187,250	
繰入金	奨学基金積立金	0	0	0	奨学基金のための積立金
	新規事業積立金	10,000,000	10,000,000	0	新規事業のための積立金
	キャンパス整備助成積立金	55,000,000	55,000,000	0	キャンパス整備助成のための積立金
	計	65,000,000	65,000,000	0	
予備費		61,341,779	0	△ 61,341,779	予算が不足した場合は、予備費を使用する
合計		369,749,429	269,069,648	△ 100,679,781	
次年度繰越金		0	100,488,769		

積立金明細書　2022(令和4)年度

2023年3月31日現在

(1)普通預金　(単位：円)

銀行名	預金残高
三菱UFJ銀行　世田谷支店（普0561496）	92,567,826
みずほ銀行　駒沢支店（普1022214）	7,920,943

(2)奨学基金積立金　(単位：円)

2021年度末累計額	2022年度積立額	積立金取崩額	合計	銀行名
303,353,070	0	0	303,353,070	みずほ銀行

(3)新規事業積立金　(単位：円)

2021年度末累計額	2022年度積立額	積立金取崩額	合計	銀行名
126,246,413	10,000,000	0	136,246,413	三菱UFJ銀行

(4)キャンパス整備助成積立金　(単位：円)

2021年度末累計額	2022年度積立額	積立金取崩額	合計	銀行名
215,000,000	55,000,000	100,000,000	170,000,000	三菱UFJ銀行
60,000,000	0	0	60,000,000	みずほ銀行

上記の通り報告いたします。

2023年4月13日

駒澤大学教育後援会　会長　久保 伸吾

2023(令和5)年度 教育後援会予算書　自 2023(令和5)年4月1日～至 2024(令和6)年3月31日

収入の部　（単位：円）

項目	2023予算額(A)	2022予算額(B)	2022決算額	差異(A-B)	摘　要
前年度繰越金	100,488,769	109,899,429	109,899,429	△ 9,410,660	
入会金	18,500,000	17,505,000	18,500,000	995,000	@5,000円×3,700人（入学者数） ※但し、入学辞退者等対象外となる人数も含む
会費	139,905,000	139,645,000	139,905,000	260,000	@5,000円×27,981件（年会費10,000円） ※但し、入学辞退や9月等対象外となる学生も含む
会合参加費	2,300,000	2,300,000	960,400	0	夏季委員研修会・委員研修会の参加費
積立金取崩収入	0	100,000,000	100,000,000	△ 100,000,000	積立金の取崩収入
雑収入	400,000	400,000	293,588	0	銀行利息（普通預金・定期預金）、その他
合計	261,593,769	369,749,429	369,558,417	△ 108,155,660	

支出の部　（単位：円）

項目		2023予算額(A')	2022予算額(B')	2022決算額	差異(A'-B')	摘　要
運営費	会議費	1,250,000	1,250,000	303,967	0	総会・役員会等諸経費
	消耗品費	150,000	100,000	43,935	50,000	事務用品・消耗品
	印刷製本費	500,000	1,100,000	743,953	△ 600,000	定期総会資料等印刷費
	通信費	450,000	450,000	264,014	0	各種会議等案内状送料・切手等諸経費
	旅費交通費	2,400,000	2,400,000	776,692	0	各県支部長などの総会等出張費、委員の委員会等交通費
	運営渉外費	250,000	250,000	215,770	0	卒業委員に対しての卒業アルバム等購入費
	ホームページ経費	2,400,000	2,300,000	2,221,722	100,000	ホームページ更新・管理料等諸経費
	運営雑費	3,300,000	1,250,000	163,440	2,050,000	応援のぼり・応援旗・各種手数料・ノートPC購入代等諸経費
	計	10,700,000	9,100,000	4,733,493	1,600,000	
一般事業費	研修費	13,600,000	12,400,000	6,262,827	1,200,000	会員研修会・新年賀詞交歓会等諸経費
	教育懇談会費	12,150,000	4,700,000	2,319,979	7,450,000	教育懇談会 印刷費、荷物等発送費、役員出張費、昼食費、現地経費、オンライン対応等諸経費
	各部活動費	3,400,000	3,400,000	2,569,399	0	各部（執行・総務・厚生・文化）活動諸経費
	支部活動費	3,650,000	5,200,000	3,053,081	△ 1,550,000	支部事務費及び運営補助費
	会報等発行費	21,300,000	21,100,000	18,546,863	200,000	会報及び卓上カレンダー作成等経費
	弔慰金	1,260,000	1,260,000	390,000	0	会員・学生・教職員弔慰金
	事業渉外費	6,750,000	6,680,000	3,813,606	70,000	サークル応援・各種学校関連行事への参加費等経費
	事業雑費	0	0	0	0	掲示物筆耕料・学生アルバイト料
	計	62,110,000	54,740,000	36,955,755	7,370,000	
特別事業費	学生指導費	15,366,290	4,753,000	2,713,800	10,613,290	卒業証書（学位記）ファイル購入経費、ゼミ合宿宿泊費補助、その他
	課外活動学外指導者指導助成金	4,950,000	4,950,000	4,630,000	0	学外指導者への指導助成経費
	学生奨励費	3,400,000	3,400,000	1,960,000	0	学生団体及び個人への祝賀金・支援金
	家計急変学生一時給付金	4,800,000	4,800,000	1,200,000	0	家計急変学生一時給付金
	奨学給付金	26,000,000	26,000,000	26,000,000	0	学内奨学金資金
	国際交流助成金	184,800	196,350	194,040	△ 11,550	私費留学生・交換留学生卒業記念品
	スポーツ強化助成金	10,000,000	10,000,000	9,400,000	0	スポーツ推薦サークルの強化助成
	文化振興助成金	1,000,000	1,000,000	0	0	文化・芸術・音楽系サークルの強化助成
	就職・キャリア支援助成金	5,560,000	6,440,000	6,439,950	△ 880,000	就職ガイドブック制作費、就活集中セミナー
	食育支援事業助成金	18,928,800	12,259,500	6,123,110	6,669,300	100円朝食助成、玉川キャンパス食育助成、学生への食料品支援プロジェクト
	教育施設等充実助成金	5,192,000	103,968,800	103,569,500	△ 98,776,800	屋外ベンチ増設購入費助成
	大規模自然災害被災者見舞金	1,800,000	1,800,000	150,000	0	大規模自然災害の被災者見舞金
	計	97,181,890	179,567,650	162,380,400	△ 82,385,760	
繰入金	奨学基金積立金	0	0	0	0	奨学基金のための積立金
	新規事業積立金	10,000,000	10,000,000	10,000,000	0	新規事業のための積立金
	キャンパス整備助成積立金	25,000,000	55,000,000	55,000,000	△ 30,000,000	キャンパス整備助成のための積立金
	計	35,000,000	65,000,000	65,000,000	△ 30,000,000	
予備費		56,601,879	61,341,779	0	△ 4,739,900	予算が不足した場合は、予備費を使用する
合計		261,593,769	369,749,429	269,069,648	△ 108,155,660	

2023(令和5)年度 教育後援会特別会計予算書

（1）奨学基金積立金特別会計　（単位：円）

2022年度末累計額	2023年度積立額	積立金取崩額	繰越額
303,353,070	0	0	303,353,070

（2）新規事業積立金　（単位：円）

2022年度末累計額	2023年度積立額	積立金取崩額	繰越額
136,246,413	10,000,000	0	146,246,413

（3）キャンパス整備助成積立金　（単位：円）

2022年度末累計額	2023年度積立額	積立金取崩額	繰越額
230,000,000	25,000,000	0	255,000,000

駒澤大学 教育後援会 会則

第1章　総則

（名称及び所在地）

第1条　本会は、駒澤大学教育後援会と称し、本部を東京都世田谷区駒沢1丁目23番地1号（駒澤大学内）に置く。

（目的）

第2条　本会は、駒澤大学（以下「大学」という。）と家庭との緊密なる連絡を図り、その教育的効果の向上に資するとともに、併せて会員相互の親睦と福祉に寄与することを目的とする。

（事業）

第3条　本会は、第2条に定める目的を達成するため、次の事業を行う。

（1）懇談会、研修会、講演会等の開催に関する事業

（2）会報及びその他刊行物の発行及び配布に関する事業

（3）大学施設整備及び教育用設備機器の拡充援助に関する事業

（4）奨学金及び家計急変学生一時給付金給付に関する事業

（5）教育相談及び就職情報等に関する事業

（6）スポーツ強化助成及び文化振興助成に関する事業

（7）福利厚生に関する事業

（8）その他、大学、会員、学生との連絡調整に関し、必要な事業

（組織）

第4条　本会は、大学に在学する全学生の父母又は保証人を会員として組織する。

第2章　役員及び委員

（役員）

第5条　本会に、次の役員を置く。

（1）会長……一人

（2）副会長……四～五人以内

（3）各部部長……一人

（4）各部副部長……二人

（5）監査……若干人

（6）学内幹事……若干人

（役員の選出）

第6条　役員の選出は、次のとおりとする。

（1）会長・副会長及び監査は、会員の中から役員会並びに委員総会において推挙し、総会の議を経て決定する。会長は、副会長及び監査にその職を委嘱する。

（2）各部部長及び副部長は、会員の中から役員会において推挙し、委員総会の議を経て決定する。会長は、各部部長及び副部長にその職を委嘱する。

（3）学内幹事は、大学と協議の上、会長が委嘱する。

（役員の任務）

第7条　役員の任務は、次のとおりとする。

（1）会長は、本会を代表して会務を総理し、会議の議長となる。

（2）副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときはこれに代わる。

（3）各部部長は、各部の業務を総括し、その部会の議長となる。

（4）副部長は、部長を補佐し、部長事故あるときはこれに代わる。

（5）監査は、会務及び会計を監査し、必要あるときは委員総会の招集を要求することができる。

（6）学内幹事は、本会の事務執行に協力するものとする。

（役員の任期）

第8条　役員の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。

②　前項にかかわらず、次期役員が決定するまでは、その業務を執行するものとする。

（委員）

第9条　本会に委員若干人を置く。

②　委員は、会員の中から役員会が推薦し、委員総会の議を経て会長が委嘱する。

（各部委員会）

第10条　各部委員会は、必要に応じ部長がこれを招集し、業務分掌に伴う事業を執行する。

（委員の任期）

第11条　委員の任期は、その子女の最短修業年限とする。

（顧問）

第12条　本会に、名誉顧問、特別顧問及び顧問を置くことができる。

②　名誉顧問は、学長、各副学長及び各局長を推戴し、重要な事項について会長の諮問に応ずる。

③　特別顧問は、顧問経験者の中から若干人を、役員会の推薦により会長が委嘱し、重要な事項について会長の諮問に応ずる。本学内の別組織役員を兼任してはならない。特別顧問の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

④　顧問は、役員会の推薦により会長が委嘱し、重要な事項について会長の諮問に応ずる。ただし、任期は1年とする。

第3章　機関

（機関）

第13条　本会に、次の機関を置く。

（1）総会

（2）委員総会

（3）役員会

（4）執行部会

（総会）

第14条　総会は、本会の最高決議機関であり、会長が年1回これを招集する。ただし、必要に応じ臨時総会を招集することができる。

（議決）

第15条　総会の議事決定は、出席会員の過半数の同意をもってこれを決する。

（委員総会）

第16条　委員総会は、役員及び委員をもって構成し、必要に応じて会長がこれを招集する。ただし会長は、推挙された新役員候補者のオブザーバー参加を認めることができる。

②　委員総会は、総会に次ぐ議決機関であり、本会事業の予算、決算その他必要な事項を審議するとともに、緊急により事業遂行に支障をきたすおそれのあるときは、これを議決することができる。

③　前項による場合、会長はその経過を総会において報告し、追認を受けなければならない。

（役員会）

第17条　役員会は、役員をもって構成するものとする。

②　ただし会長は、推挙された新役員候補者、各県支部支部長・副支部長のオブザーバー参加を認

めることができる。
なお、各県支部支部長・副支部長はオンライン参加を原則とする。
③　会長は必要に応じこれを招集し、全ての会務を企画・立案し業務を執行する。
（執行部会）
第18条　会長・顧問・副会長をもって執行部会を構成するものとする。
②　ただし会長は、推挙された会長・顧問・副会長候補者及び特別顧問のオブザーバー参加を認めることができる。
③　会長は必要に応じて、これを招集することができる。

第4章　事業の運営

（業務の分担）
第19条　本会は、業務を分担するため、分掌機関として次の部を置く。
（1）総務部
（2）厚生部
（3）文化部
（事務局）
第20条　本会の事務局は、駒澤大学学生支援センター厚生課とし、諸般の事務を掌る。

第5章　会費及び会計

（会計年度）
第21条　本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。
（経費）
第22条　本会の経費は、入会金及び会費その他の収入をもって支弁する。
（会費及び入会金）
第23条　本会の会員は、入会金及び会費を負担する。
（1）入会金は、5000円とし、入学時に納入する。なお、入学者が過去に大学（大学院含む）または駒澤短期大学に在籍し入会金を納めた者並びに国費外国人留学生及び交換留学生から徴収はしない。
（2）会費は、年額10000円とし、毎年4月に納入するものとする。ただし、半期分を毎年4月及び9月に分割納入することができる。
なお、国費外国人留学生及び交換留学生から徴収はしない。
②　入会金及び会費は本会に代わって大学が学納金とともに代理徴収する。
（予算及び決算等）
第24条　会長は、総会に当事業年度の予算及び事業計画を提出してその議決を求め、かつ、前事業年度の決算及び事業報告について承認を求めなければならない。
②　会長は、予算が成立するまでの間、通常の業務を遂行するに必要な経費の金額に限り支出することができる。
（特別会計）
第25条　会長は、総会の承認を得て、特別の支出を目的とする特別会計を設けることができる。
②　会長は、特別会計の決算又は、事業年度末の現況について定期総会の承認を求めなければならない。
（監査報告）
第26条　監査は、各事業年度における業務の執行及び会計を監査した結果について、翌事業年度の定期総会において報告しなければならない。

第6章　支部の設置

（支部）
第27条　本会に支部を置くことができる。
②　支部の設立及び運営等については、細則をもって別にこれを定める。

第7章　補則

（会則の改廃）
第28条　この会則の改廃については、総会の議を経なければならない。
（雑則）
第29条　この会則に定めないものは、すべて委員総会に諮り、決定するものとする。

附則

○この会則は、平成12年5月21日から施行する。
○この会則は、令和5年5月13日から施行する。

誌面スペースの都合上、附則項目は途中を省略しています。詳細は教育後援会事務局までお問い合わせください。

駒澤大学教育後援会のホームページを更新し、スマートフォンやタブレット端末などでも一段と閲覧しやすくなりました。

駒澤大学教育後援会では、近年のスマートフォン普及に伴い、モバイルデバイス（iPhone、iPad、Android 等）閲覧に対応するホームページにリニューアルいたしました。また、GMOグローバルサインが提供するSSLサーバ証明書は、認証業務運用規程（CPS）および利用規約に基づいて提供され、WEBサイトのセキュリティを強化しています。

https://www.komazawa-k.org

令和5年度 後期学費等納入のお知らせ

○本年度学費等を分割納入された方は、後期分を期限内に納入してください。

◆納入期限

後期学費等納入期限　9月20日(水)

❶学費等は期限までに大学所定の学費等振込依頼書をご利用のうえ、金融機関より納入してください。納入は現金に限ります。ただし、ゆうちょ銀行からの振込みは、事前にゆうちょ銀行窓口で振込方法等を確認してください。

※10万円を超える現金の振込みの場合、金融機関窓口で公的な本人確認書類の提示を求められることがあります。詳しくは、各金融機関のホームページや窓口などでご確認ください。

※いったん納入された学費等はお返ししません。

❷ＡＴＭ・インターネットバンキングにて納入する場合、**依頼人名として大学所定の振込依頼書に記載されている「振込依頼人コード(10桁)」及び「学生氏名」を必ず入力**し、振込金額を間違わないよう納入してください。なお、納入時に不備がある場合、学生の特定及び入金確認ができないため、納入控え等の提出をお願いする場合があります。

※金融機関利用限度額を理由とする分割納入はお取り扱いできません。事前に金融機関へご確認のうえ、必要に応じて利用限度額変更の手続きを行ってください。

❸後期学費等振込依頼書は、8月中旬頃、保証人住所へ送付予定です。大学所定の振込依頼書を紛失した場合、財務部までご連絡ください。

❹納入期限までに納入できない特別な事情がある場合、納入期限を延期することができます。大学ホームページをご確認いただくか、財務部までご連絡のうえ、所定の「学費等延納願」を9月20日(水)までに提出してください。学生及び保証人の署名捺印が必要となります。

❺修学支援新制度の授業料等減免対象者の振込依頼書発送時期及び納入期限は異なります。

【お問い合わせ先】財務部学費係
TEL 03-3418-9076
FAX 03-3418-9071

卒業アルバムのご案内

卒業アルバムに寄せられた写真や言葉は、何十年もの時間を経ても色褪せずに、その時の記憶を鮮明に残します。見返せば、当時の思い出を蘇らせてくれるアルバムは、長年の時間の経過とともに、その価値がますます上がっていくでしょう。

卒業アルバムには卒業年次生の個人写真や、ゼミ・サークル・友人との写真、入学式・学園祭・卒業式などの行事、キャンパス風景がフルカラーで掲載されています。卒業年次生の個人写真の撮影会は年数回、大学構内で実施しています。ご都合が合わない場合は、個人写真のデータ投稿も受け付けています。また、サークル・ゼミ・友人・有志などで撮影した集合写真のデータ投稿もお待ちしております。

アルバムに掲載された一枚一枚の写真には、一人ひとりの大学時代の思い出が込められています。卒業してから10年、20年と時間がたち、ふと手に取って見返したときに、卒業生にもご家族にも楽しんでいただけるアルバムです。皆さまのお申し込みをお待ちしています。

❶卒業アルバム代金
予定価格　一冊　8500円(送料・税込み)

❷申込方法
保証人様宛に「お知らせ・振込用紙」を発送する予定です。
①「Web申込(クレジット決済・コンビニ決済)」をご利用の方は、「お知らせ」に記載されたQRコードからお申し込みサイトへアクセスしてください。
②同封の「振込用紙」をご利用の方は、郵便局でお申し込みください。

❸卒業アルバムの送付について
申込時に指定された送付先へ、卒業後の6月末に発送いたします。

※写真はイメージです。

【お問い合わせ先】
学生支援センター学生係
TEL 03-3418-9064

奨学金について

学生支援センター厚生課

駒澤大学　学内奨学金

大学独自の奨学金として、学業奨励型・経済支援型・入学者選抜出願時申請型の3タイプの奨学金を用意しています。本年度の申請期間はいずれも終了していますが、左記をご参照ください。各奨学金の詳細は、大学Webサイトでご確認いただけます。

タイプ	名称	給付金（年額）	採用人数	申請期間
学業奨励型	学業成績最優秀者奨学金	50万円	各学科の各学年から1人ずつ（53人）	申請不要
経済支援型	百周年記念奨学金	50万円	100人以内	6月
	駒澤会奨学金	20万円	20人以内	6月
	同窓会奨学金	10万円	150人以内	6月
	大学院給付奨学金	50万円	大学院生6人以内	6月
入学者選抜出願時申請型	自己推薦選抜奨学金	50万円	10人以内	出願時
	全学部統一日程選抜奨学金	30万円	200人	出願時
	新人の英知奨学金	授業料相当額	64人	出願時

高等教育の修学支援新制度

国が推進する「高等教育の修学支援新制度」は、「給付型奨学金」と「授業料等減免」の二つの支援から成っています。駒澤大学も対象機関になっており、現在約千人の学生が支援を受けています。採用要件は「世帯収入や資産の要件を満たしていること」と「学ぶ意欲があり、単位を順調に修得していること」の二つです。

例年、4月と9月に新規募集を行っていますので、KONECOや大学Webサイトをご覧ください。

★採用要件と支援の目安

採用支援区分	世帯収入の目安（年収）	給付型奨学金（月額）		授業料減免の上限額（年額）
		自宅通学	自宅外通学	
第Ⅰ区分	～約270万円	38,300円	75,800円	約70万円
第Ⅱ区分	～約300万円	25,600円	50,600円	約47万円
第Ⅲ区分	～約380万円	12,800円	25,300円	約23万円

※世帯収入の目安は、世帯の構成等によって異なりますので、日本学生支援機構Webサイトの「進学資金シミュレーター」をご参照ください。

※授業料減免額は、所属学部により異なります。

奨学金受給者の声

法学部 政治学科3年
学業成績最優秀者
奨学金受給者
横山 隼汰さん

駒澤大学に寄付してくださっている皆様、ありがとうございます。今回「学業成績最優秀者奨学金」に採用されたことで、努力が報われたと感じると同時に、今まで以上に勉強に意欲が湧くようになりました。

私はかねてより政治、特に外交分野に関心があり、将来は政治に関わる仕事をしたいという目標があったことから、政治学科に入学しました。1年次は教養科目や基礎科目が中心でしたが、今年度は国際関係や豊富な地域研究科目を中心に履修し、学びを深めています。

いただいた奨学金は、研究テーマに関する書籍の購入費用やそれに関連する言語の勉強費用に充てようと考えています。皆様のご支援のおかげで恵まれた環境が整えられていることを忘れず、今後も一日一日努力を積み重ねていきたいと思います。

経済学部 商学科4年
学業成績最優秀者
奨学金受給者
広瀬 悠人さん

駒澤大学へ寄付くださっている皆様、学生のためにご支援いただき誠にありがとうございます。

コロナ禍での学生生活が続き不安も多かったのですが、昨年より対面授業が再開し、少しずつ不安が解消されてきました。一方、オンライン授業と対面授業とが並行することで、新たな苦労や困難も生じました。その中で、私は「目の前の一つ一つのことに精一杯取り組む」をモットーに取り組んできました。結果としてこの奨学金をいただき、「やってきたことは間違っていなかった」と感じ、大きな自信となりました。

現在は授業以外に英語学習にも力を入れており、奨学金は教材購入費や就職活動費、見聞を広めるための費用として活用させていただいています。この結果に満足せず、支援くださっている皆様への感謝を忘れずに今後も日々精進していく所存です。

文学部 社会学科
社会福祉学専攻4年
学業成績最優秀者
奨学金受給者
小泉 知佳さん

駒澤大学に寄付をしてくださっている皆様、学生へのご支援誠にありがとうございます。

私は社会福祉や社会保障制度について、利用者の目線に立って問題を考え、日々学びを深めています。ゼミでは福祉住環境について、学内のさまざまな場所を自分たちの目で調査し、研究しています。

皆様からいただいた奨学金は、資格取得のための参考書購入費や受験費として使わせていただき、福祉住環境コーディネーター2級に合格することができました。ご支援いただいた皆様のおかげで、より一層、主体的に学びに取り組むことができたと実感しております。

今後もたくさんの方が支えてくださっていることを忘れずに、勉学や研究に精進していきたいと思います。

奨学生からのメッセージは、こちらのQRコードからご覧いただけます➡

国際センターの取り組み

国際センターでは、グローバル時代に対応できる人材を社会に輩出すべく、その支援・育成に注力しています。コロナ禍での制限が緩和された今、駒澤大学では、海外留学や国際交流を一段と後押ししていきます。

◆留学相談室

駒沢キャンパスの留学相談室では、多種多様な留学パターンの紹介、必要な語学力や勉強方法、留学手続きなど、さまざまな疑問や相談に専門のスタッフが応じています。また、「学生留学アドバイザー」として、留学経験者が相談者のさまざまな疑問にお答えします。

場　所　駒沢キャンパス3号館5階
開 室 日　月～金（授業期間中）
開室時間　10時～13時　14時～17時

◆短期語学セミナー

夏と春の年に2回、協定校での約1カ月間の短期語学セミナーを実施しています。

本年度は、夏季についてはカナダ、アメリカ、台湾、フランスで、春季についてはオーストラリア、スペインで語学研修を行います（夏季については募集終了、春季については10月ごろに募集予定）。

◆課外講座

留学や就職に向けての英語力向上のため、TOEFL®テストやTOEIC®L&Rテストへの対策集中講座、「毎日学べる英会話」（毎日40分ずつ、全100回のレッスンを各自の都合に合わせて、学内で学べる英会話講座）といった課外講座を実施しています。また、TOEFL ITP®テストやTOEIC®IPテストの団体受験も学内で実施され、英語力の効果測定ができるようになっています。

（課外講座の申し込みに関しましては左記にご連絡ください。）
（株）KUサポート
TEL 03-3418-9525

◆交換留学・認定校留学

学部の専門科目を修めるための留学として、「交換留学」と「認定校留学」の制度があります。

交換留学では、駒澤大学が世界各地に持つ計16校の協定校に留学します。この際、留学先の大学の学費が減免されます。認定校留学では、世界中の大学から希望する大学を自分自身で決定し留学することができます。

◆グローバルサロン

駒澤大学には、多彩な国からの留学生がいますが、グローバルサロンでは、そうした留学生と各国の言語や文化に触れながら会話を楽しみ、友達になって交流を深め、お互いの学生生活をより充実したものにできます。

本イベントの開催日時・場所等につきましては、KONECOにてお知らせいたします。

◆来日プログラム

2023年6月に、実に4年ぶりとなる来日プログラム（KOMSTUDY）を開催しました。本プログラムでは、本学の協定校より留学生が来日し、約1カ月間、駒澤大学の学生との交流を通して日本語や日本文化を学びます。

本イベントには、在学生からも多くのボランティア協力をいただきます。グローバルサロンと同様に、駒澤大学内で留学生と交流することができる貴重な機会です（ボランティアについては募集終了）。

駒澤大学
学生・保護者の方々へ

こんにちは。株式会社KUサポートです。
株式会社KUサポートは、学校法人駒澤大学の100%出資により設立された事業会社です。
大学と連携して事業活動を展開し快適な学生生活を送っていただくことに努めております。

学生サービスのご案内

【在学生向け】

★英語講座後期募集（国際センター課外講座として受託運営しています。）

Ⅰ. 毎日学べる英会話（後期分）

・毎日40分レッスン、後期50回、受講料65,000円
・7月中旬～下旬募集、9月下旬講座開始

Ⅱ.TOEIC®L&R／TOEFL iBT®／IELTS™対策講座

・週2回、夕方2時間、全20回、受講料82,000円
・実力に合わせたコース選択が可能
・7月中旬～下旬募集、9月下旬講座開始

★就職活動用証明写真学内撮影会
10月中旬、11月下旬～12月上旬、1月下旬～2月上旬開催予定

★レンタル卒業袴予約展示会
7月初旬以降、順次毎月実施予定（記念講堂ほか）

【新入生向け】

★専用寮・優先寮・学生会館・学生マンション、一般流通物件の斡旋
在学生の借り換えもできます。

★学生総合補償制度（駒澤大学生専用保険）
学校内、プライベートを問わず傷害等24時間補償。日常生活での個人賠償責任を補償します。

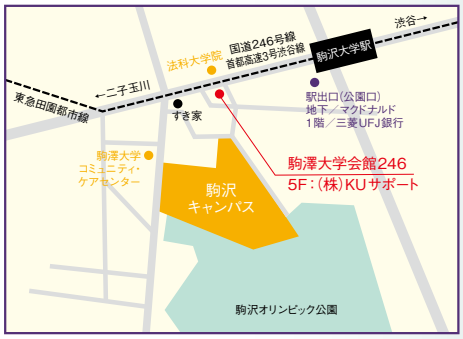
★ノートパソコン、モバイルWi-Fi、電子辞書の販売（4年間の動産保険付き）
ノートパソコンは4月末、モバイルWi-Fiは6月中旬、電子辞書は7月末まで販売しています。

★スーツ割引
AOKI、洋服の青山、コナカ、KASHIYAMAとの提携割引があります。

電子パンフレットはこちらから

学校法人駒澤大学事業会社
株式会社KUサポート

株式会社KUサポートは、大学と連携して事業活動を展開し
大学の教育・研究の充実に寄与しより良い環境づくりをサポートします。
事業活動を通じて広く社会に貢献することを目的とし
学校法人駒澤大学の100%出資により2007年7月に営業を開始しました。



TEL 03-3418-9743　URL http://ku-support.com/

第51回

一泊参禅研修会

令和5年10月21日(土)午後3時 ～ 22日(日) 午前9時

参加募集

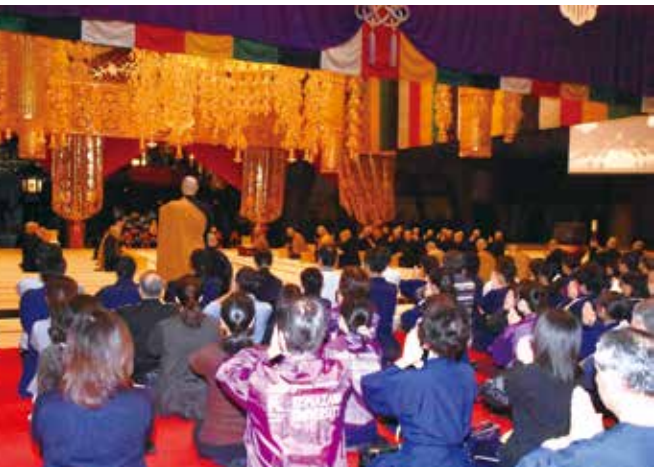
場所 **大本山永平寺**

福井県吉田郡永平寺町志比5-15　TEL:0776-63-3102

JR「福井駅」から

- 京福バス「特急永平寺ライナー」(永平寺直行バス)で永平寺門前まで約30分
- えちぜん鉄道 勝山永平寺線に乗り換えて、「永平寺口駅」下車。
  京福バス「永平寺門前行」または「永平寺行」で終点下車、徒歩約5分

一泊参禅研修会(会員研修会)は、大本山『永平寺』と『總持寺』において、毎年(それぞれ隔年で)開催しております。
本年度は、大本山「永平寺」(福井県)において、下記の日程により開催いたしますので、多数のご参加をお待ちしております。



集合場所	大本山永平寺総受付
受付時間	10月21日(土)午後1時30分～午後2時30分
解散時間	10月22日(日)午前9時予定
参 加 費	8,000円(予定)
募集人員	80人(先着順。現役在学生の保護者のみ対象)

(予定)

申込方法 ①もしくは②

申込期日:令和5年9月4日(月)まで(上記募集人員に達しましたら、締め切らせていただきます。)

※ご参加の可否につきましては、お申し込みされた方を対象に、9月下旬に文書にてお知らせいたします。
また同時に、スケジュールの詳細や参加費のお支払い方法などのご案内もいたします。

①郵送

参加申込書(←左ページ)に必要事項をご記入の上、封書にて下記の送り先までご郵送ください。
お問い合わせ:TEL 03-3418-9060

〒154-8525
東京都世田谷区駒沢1-23-1
駒澤大学教育後援会事務局
(駒澤大学学生支援センター内)

②Web申込　https://www.komazawa-k.org

「駒澤大学教育後援会」ホームページトップ画面より「父母も参加できるイベント」内の一泊参禅研修会申込フォームからお申し込みください。

第51回会員研修会「一泊参禅研修会」参加申込書

令和5年10月21日（土）～22日（日）の
第51回会員研修会「一泊参禅研修会」への参加を申し込みます。

令和５年　　月　　日

<table>
<tr><td rowspan="6">参加者</td><td>ふりがな</td><td colspan="2"></td><td>性別</td><td>男・女</td><td>年齢</td><td>歳</td></tr>
<tr><td>氏名</td><td colspan="2"></td><td rowspan="2">生年月日</td><td colspan="3" rowspan="2">昭和
平成　　年　月　日</td></tr>
<tr><td rowspan="2">住所</td><td colspan="2" rowspan="2">〒　　－</td></tr>
<tr><td>TEL</td><td colspan="3">－　　－</td></tr>
<tr><td>ふりがな</td><td colspan="2"></td><td>性別</td><td>男・女</td><td>年齢</td><td>歳</td></tr>
<tr><td>氏名</td><td colspan="2"></td><td rowspan="2">生年月日</td><td colspan="3" rowspan="2">昭和
平成　　年　月　日</td></tr>
<tr><td rowspan="2">住所</td><td colspan="2" rowspan="2">〒　　－</td></tr>
<tr><td>TEL</td><td colspan="3">－　　－</td></tr>
<tr><td rowspan="4">学生情報</td><td>学部
学科・年</td><td colspan="6">学部　　学科　　年</td></tr>
<tr><td>学生番号</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>学生番号は
宛名シールの
６桁の番号です</td></tr>
<tr><td>ふりがな</td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td>氏名</td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td colspan="2">備考欄</td><td colspan="6"></td></tr>
</table>

ご提供いただいた個人情報は、一泊参禅研修会のご案内送付など会員研修会に関する業務（旅行保険含む）目的にのみ利用いたします（申込書に空欄がある場合は旅行保険補償対象外となります）。また、「学生情報」は事務処理に必要な情報です。

キリトリセン

アンケートに答えて

駒澤大学関連グッズを抽選で10名様プレゼント!

駒澤大学教育後援会『会報』第186号はいかがだったでしょうか。今後の誌面編集の参考にさせていただくため、下記アンケートにお答えください。回答されたシートは、郵送もしくは FAXで駒澤大学教育後援会事務局までお送りください。皆様の率直なご意見、ご要望をお待ちしています（9月15日必着）。

Q1. おもしろかった記事の番号をお書きください（複数回答可）。

- 1 表紙について
- 2 《巻頭挨拶》各務 洋子（駒澤大学 学長）
  櫻井 秀則（駒澤大学教育後援会 会長）
- 3 特集① サークル紹介　軟式野球部／鉄道研究会
- 4 特別企画 新入生スケッチブック〜ひとことメッセージ〜
- 5 特集② 学部・学科紹介　文学部 英米文学科
- 6 特別企画 地方で活躍する駒大卒業生の皆さん
- 7 特集③ 気になる就職活動
- 8 教育後援会だより
- 9 特集④ 定期総会報告
- 10 大学だより

回答欄

Q2. 学部の教育内容や学生生活の状況、紹介してほしい学部・学科、ゼミなど、特集で取り上げてほしいテーマをお書きください。

Q3. 駒澤大学教育後援会『会報』に関するご感想、またお気づきの点がございましたらお書きください。

プレゼントを希望される方は下記にご住所、ご氏名をご記入ください。ご協力まことにありがとうございました。

ご住所	〒
ご氏名	

ご記入いただいた個人情報はプレゼントの発送にのみ使用させていただきます。
お預かりした個人情報は駒澤大学教育後援会事務局が責任をもって管理します。

郵送送り先

〒154-8525
東京都世田谷区駒沢1-23-1
駒澤大学教育後援会事務局 宛

FAX送り先

FAX 03-3418-8491

お問い合わせ：TEL 03-3418-9060

キリトリセン

会報
駒澤大学教育後援会
2023
Vol.186

令和5年7月14日発行

駒澤大学教育後援会
〒154-8525
東京都世田谷区駒沢1-23-1
駒澤大学学生支援センター内
駒澤大学教育後援会事務局

TEL：03-3418-9060
FAX：03-3418-8491

Event

オータムフェスティバル2023
11月4日（土）・11月5日（日）開催!!

駒大を肌で感じる2日間!!

コロナ禍も明け、昨年度に引き続き、
対面での開催を目指して、準備を進めています。

詳細はオータムフェスティバルのHP等で随時お知らせします。

編集後記

これまで、仕事ばかりであまり学校行事に関われずにおりましたので、教育後援会の案内をいただき、大学で保護者が参加できることに驚きました。少しでもできることがあればと思いましたが、あっという間に1年が過ぎ、あまりお役に立てず申し訳なく思います。

コロナ禍で自粛していた活動が再開され、新入生から大学生活の抱負を聞く「スケッチブック」取材が、私にとって初めてのインタビュー経験となりました。「ひとりで起きられるようになる!」とにぎった拳の決意を応援します。ハツラツとした1年生の皆さんと触れ合い、有意義な時間を過ごすことができました。マスクなしの撮影に照れながらも、爽やかな笑顔を浮かべている姿が印象的でした。

成人となり、これまでとは違う学生生活が始まりますが、さまざまなことに挑戦して、新しい出会いを楽しみ、可能性を広げてほしいと思います。

私も後援会活動を通じて、子どもたちだけでなく、自分自身の成長にもつながる貴重な出会いがあったことに、改めて感謝いたします。（R.T）

後援会委員の活動を始めて1年がたちました。娘の大学受験が終わり子育ても一区切りと少し寂しく感じていましたが、委員のお誘いを受け、またもう少し子どもに関われる機会に恵まれ感謝しています。

特集記事企画で訪れたサークルフェスティバル当日は、たくさんの新入生が快く取材に応じてくれました。マスクを外した学生たちの笑顔と、これから始まるキャンパスライフへの希望をじかに感じることができ、パワーをもらいました。

軟式野球部の取材では、部員やマネージャーの皆さんが、知識ゼロの私たちのどんな質問にも分かりやすく答えてくれました。どの子もキラキラして楽しそうなのが印象的でした。

大学生活は人生で振り返ると短い4年間です。だからこそ悔いなく、コロナ禍で我慢してきたことを思いっきり楽しんでほしいと心から願っています。

私も新しい出会いや体験ができる後援会活動を楽しみたいと思います。（N・T）

応援します 輝く今を

駒澤大学教育後援会

駒澤大学 https://www.komazawa-u.ac.jp/　　駒澤大学教育後援会　https://www.komazawa-k.org/

お問い合わせ先

日本学生支援機構（JASSO）奨学金について 学生支援センター内 03-3418-9557	奨学金の相談について 学生支援センター 厚生課厚生2係 03-3418-9058	学業成績等の相談について 教務部教務1係 03-3418-9118	留学について 国際センター 03-3702-9732
学費について 財務部学費係 03-3418-9076	図書館について 図書館情報サービス係 03-3418-9165	保証人住所変更について 教務部学籍係 03-3418-9121	就職関係について キャリアセンター 03-3418-9092